

2021（令和3）年度事業報告書

—2021年4月1日～2022年3月31日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要	…	1 頁
	(1) 基本情報	…	1 頁
	(2) 建学の精神	…	1 頁
	(3) 学校法人の沿革	…	2 頁
	(4) 設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
	(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・児童・園児数の状況	…	4 頁
	(6) 収容定員充足率	…	5 頁
	(7) 役員の概要	…	6 頁
	(8) 評議員の概要	…	8 頁
	(9) 教職員の概要	…	9 頁
2	事業の概要	…	10 頁
	(1) 主な教育・研究の概要	…	11 頁
	(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等） 及び事業計画の進捗・達成状況	…	30 頁
	(3) 施設等の状況	…	72 頁
3	財務の概要	…	73 頁
	(1) 決算の概要	…	73 頁
	(2) その他	…	79 頁
	(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、 今後の方針・対応方策	…	84 頁

1 法人の概要

(1) 基本情報

学校法人 聖隷学園
静岡県浜松市北区三方原町3453
電話(代表) 053-436-5311
FAX 053-436-5355
H P <https://www.seirei.ac.jp/gakuen>

(2) 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

聖隷学園は「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」というイエス・キリストの愛を基本理念としています。

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険をおかし、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。聖隷学園が教育環境の充実を図っていく中で願うことは、聖隷学園が地域の人々にとって役に立つ学園であってほしいということです。地域社会における医療・保健・福祉の質の向上に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや開発途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第13章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教を示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926年(大正15年)4月、長谷川保らクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「クリストファーChristopher」は、「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3世紀半ば頃の半伝説的殉教者の名前です。クリストファー伝説は、6世紀以後主にライン川流域に広がり、今なお欧州各地において多くの関心と尊敬を集め語り継がれています。伝説によれば、川の渡し守が、嵐の夜、小さい男の子が向こう岸に渡りたいというので、肩車をして渡すと川中で次第に重くなり、やっとの思いで向こう岸に着いたということです。岸に着いてみると、それはキリストであったといわれます。「重くなった」ということに2つの意味があるといわれています。一つは、この世の人々の苦しみ、悲しさの総量を表します。二つには、夜の早瀬や深みを渡るとき、自分より重いものを荷わなければ、自分自身も流れにのみこまれてしまう、ということです。以後キリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称となり、ヨーロッパ諸国に広まりました。

聖隷の創立者・長谷川保は、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーがキリストを背負ったように、これらの人々を大事にケアする人が育ってほしいとの願いから「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



聖隷のシンボルマークは故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981年聖隷学園に奉職）により1980年に考案されました。外側の二重円は、最後の晩餐で主イエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の3つの円は、聖隷グループが使命とする医療（赤）、福祉（緑）、教育（青）を象徴しています。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業がキリスト教会の中から始まったことを示しています。

(3) 学校法人の沿革

1930年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936年	浜松市三方原町の県有地7ヘクタール（21,000坪）払下げになる
1939年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952年	聖隷准看護婦養成所開設
1966年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科（修士課程）設置
2001年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科（修士課程）を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006年	大学院にリハビリテーション科学研究科（修士課程）を設置 高等学校に英数科を設置
2007年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008年	大学院に保健科学研究科（博士後期課程）を設置 大学社会福祉学部にごども教育福祉学科を設置
2009年	聖隷クリストファー中学校設置
2010年	大学看護学部に養護教諭課程開設

2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びこども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設
2019 年	大学社会福祉学部こども教育福祉学科に小学校教諭課程開設
2020 年	聖隷クリストファー小学校開設
2022 年	聖隷クリストファー中学校「中高一貫コース」「グローバルスクールコース」制導入

(4) 設置する学校・学部・学科等 (2021 年 5 月 1 日現在)

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリストファー大学	1992 年	看護学部	看護学科	
	2007 年	助産学専攻科		
	2002 年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011 年度より 3 学科に改編 2013 年度「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更
	2008 年		こども教育福祉学科	
	2011 年		介護福祉学科	
	2004 年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011 年度より 3 学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998 年	大学院看護学研究科 博士前期課程 (修士課程)		
	2011 年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004 年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程 (修士課程)		
	2011 年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
2006 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程 (修士課程)			
2011 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程			
聖隷クリストファー大学 介護福祉専門学校	2016 年	介護福祉学科		
聖隷クリストファー 高等学校	1966 年	普通科		1974 年衛生看護科から移行
	2006 年	英数科		

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘要
聖隷クリストファー 中学校	2009年			
聖隷クリストファー 小学校	2020年			
聖隷クリストファー大学 附属 クリストファーこども園	2011年			

(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・児童・園児数の状況 (2021年5月1日現在)

◆聖隷クリストファー大学・大学院

(単位：人)

		入学 定員	入学 者数	収容 定員	在 籍 者 数				
					1年	2年	3年	4年	合計
大 学 院	看護学研究科	15	11	35	11	14	14	-	39
	博士前期課程	10	7	20	7	9	-	-	16
	博士後期課程	5	4	15	4	5	14	-	23
	社会福祉学研究科	13	3	29	3	7	9	-	19
	博士前期課程	10	2	20	2	4	-	-	6
	博士後期課程	3	1	9	1	3	9	-	13
	リハビリテーション科学研究科	20	13	45	13	19	3	-	35
	博士前期課程	15	10	30	10	14	-	-	24
	博士後期課程	5	3	15	3	5	3	-	11
大学院合計		48	27	109	27	40	26	-	93
大 学	看護学部	150	158	600	158	155	158	170	641
	看護学科	150	158	600	158	155	158	170	641
	助産学専攻科	15	17	15	17	-	-	-	17
	社会福祉学部	120	80	450	80	95	94	68	337
	社会福祉学科 (※1)	65+15	48	240	48	52	48	42	190
	介護福祉学科 (※2)	-	-	50	-	-	16	5	21
	こども教育福祉学科	40	32	160	32	43	30	21	126
	リハビリテーション学部	95	110	380	110	108	124	109	451
	理学療法学科	40	53	160	53	46	56	47	202
	作業療法学科	30	28	120	28	34	37	34	133
	言語聴覚学科	25	29	100	29	28	31	28	116
	大学合計	380	365	1,445	365	358	376	347	1,446
総合計		428	392	1,554	392	398	402	347	1,539

※1・・・+15は編入学生 3・4年次の入学定員は40

※2・・・介護福祉学科は社会福祉学科に統合

◆聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	収容 定員	在 籍 者 数		
				1年	2年	合計
介護福祉学科	40	28	80	28	18	46
総合計	40	28	80	28	18	46

◆聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	入学定員	入学者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
英数科	94	55	282	55	50	49	154
普通科	200	331	600	331	268	225	824
総合計	294	386	882	386	318	274	978

◆聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	入学定員	入学者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
総合計	70	43	210	43	23	54	120

◆聖隷クリストファー小学校

(単位：人)

	入学定員 (※)	入学者数	総定員	在籍者数						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
総合計	120	86	240	49	52	20	25	17	16	179

※2021年度生入学募集は1・3・5年生を募集

◆聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在籍者数							
		0歳	1歳	2歳	満3歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	225	15	15	15		60	60	60	225
1号認定	135				1	42	50	45	138
2.3号認定	90	2	11	14		17	15	18	77
総合計		2	11	14	1	59	65	63	215

(6) 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
聖隷クリストファー大学	97.7%	97.2%	97.9%	99.2%	99.0%
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	58.8%	56.3%	58.8%	53.8%	57.5%
聖隷クリストファー高等学校	94.3%	93.0%	89.1%	96.7%	110.9%
聖隷クリストファー中学校	66.2%	68.1%	69.0%	57.6%	57.1%
聖隷クリストファー小学校 ※2020年度開校	-	-	-	76.7%	74.6%
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園	96.0%	97.8%	99.1%	100.8%	95.6%

(7) 役員概要

2022年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月29日理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月25日理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任（法人事務局長兼任）
理 事	大城 昌平	常 勤	2017年4月聖隷クリスティア-大学学長就任 2013年5月23日理事就任
理 事	上村 敏正	常 勤	2020年4月聖隷クリスティア-中・高等学校校長就任 2020年4月1日理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月24日理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-大学看護学部長就任 2016年5月26日理事就任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-大学介護福祉専門学校長就任 2017年5月25日理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月 聖隷クリスティア-大学附属クリスティア-こども園総園長就任 2012年5月24日理事就任
理 事	田島 忠和	非常勤	2021年4月1日理事就任 （東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長）
理 事	青木 善治	非常勤	2021年4月1日理事就任 （聖隷福祉事業団理事長）
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月1日理事就任 （聖隷三方原病院院長）
理 事	岡 俊明	非常勤	2018年11月28日理事就任 （聖隷浜松病院院長）
理 事	砂原 和仁	非常勤	2020年5月28日理事就任 （東京海上日動メディカルサービス株式会社 企画部担当部長）
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月1日監事就任
監 事	三輪 久夫	非常勤	2021年12月1日監事就任 （浜松磐田信用金庫 常務理事）

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
監 事	俵山 初雄	非常勤	2021年11月 監事退任

2021年3月31日以降の異動状況

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
【退任】			
理 事	君島 功	非常勤	2021年3月理事 退任
理 事	山本 敏博	非常勤	2021年3月理事 退任
監 事	俵山 初雄	非常勤	2021年11月監事 退任

【就任】			
理 事	田島 忠和	非常勤	2021年4月理事 就任
理 事	青木 善治	非常勤	2021年4月理事 就任
監 事	三輪 久夫	非常勤	2021年12月監事 就任

役員賠償責任保険契約の状況(2022年3月31日現在)

対象役員	契約内容の概要
理事・監事	契約者(団体)：日本私立大学協会 加入期間：1年(2021年4月1日 午後4時～2022年4月1日 午後4時) 保険期間中総支払限度額：3億円 免責金額：0円

責任限定契約の状況(2022年3月31日現在)

対象役員	契約内容の概要
田島 忠和	責任限度額：10万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第14条に基づき定めた額)
青木 善治	責任限度額：24万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第14条に基づき定めた額)
荻野 和功	責任限度額：24万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に2を乗じた額)
岡 俊明	責任限度額：24万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に2を乗じた額)
砂原 和仁	責任限度額：10万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第14条に基づき定めた額)
平井 章	責任限度額：24万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に2を乗じた額)
三輪 久夫	責任限度額：24万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に2を乗じた額)

(8) 評議員の概要

2022年3月31日現在
定員数 27名

氏名	就任年月日	主な現職等
長谷川 了	1979年 7月 8日	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	2003年 4月 1日	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
大城 昌平	2013年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 学長
上村 敏正	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 校長
太田 雅子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
田島 忠和	2021年 4月 1日	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
大野 和男	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部長
中村 純	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー小学校 校長
新宮 尚人	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
市江 和子	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科長 (大学院三研究科長代表)
敷浪 いづみ	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー中・高等学校 教頭
中村 憲司	2010年 5月 27日	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	2012年 11月 28日	聖隷クリストファー小学校 総務部長
茨城 久一郎	2021年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 副校長
紅谷 純	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー大学 同窓会会長
木村 忠雄	2007年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 同窓会副会長
中村 純子	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー高等学校 同窓会長
野中 勝彦	2021年 4月 1日	聖隷クリストファー大学・介護福祉専門学校 後援会長
寺谷 裕樹	2021年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 P T A会長
長澤 道子	2003年 4月 1日	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	2005年 4月 1日	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	1997年 4月 1日	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	2015年 4月 1日	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
岡村 奈緒美	2021年 12月 1日	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	1990年 4月 1日	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

(9) 教職員の概要 (2021年5月1日現在)

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

(単位：人)

	専任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	17	13	17	2	49	92	141
社会福祉学部	12	9	2	0	23	53	76
リハビリテーション学部	14	7	7	0	28	70	98
助産学専攻科	1	1	1	0	3	29	32
合計	44	30	27	2	103	244	347
平均年齢	51.7歳						

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	3	14	5	22
平均年齢	42.6歳			

聖隷クリストファー高等学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	44	45	89
平均年齢	45.0歳		

聖隷クリストファー中学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
中学校	10	11	21
平均年齢	41.6歳		

聖隷クリストファー小学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	準職	合計
小学校	24	3	2	29
平均年齢	42.2歳			

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 教員数

(単位：人)

	専任	準職	合計
こども園	15	35	50
平均年齢	37.6歳	47.2歳	

※準職員は7.75hで1名換算

職員数

(単位：人)

	専任	準職	派遣	合計
法人	10	3	5	18
聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	40	9	4	53
聖隷クリストファー中・高等学校	5	4	0	9
聖隷クリストファー小学校	4	0	1	5
クリストファーこども園	4	17	0	21
合計	63	33	10	106
平均年齢	43.3歳	56.8歳	-	47.9歳

2 事業の概要

法人全体

①メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想

国際基準に合わせた医学教育（2023年以降）の改革に対応するため、メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去6年制医学部から4年制メディカルスクール（学部卒業）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナシユ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

②グローバルスクール設置構想

2022年4月グローバルスクール（中学校）開設にあたり国際バカロレア教育をふまえたカリキュラム、教員配置を計画し、将来グローバルスクール（中高等学校）の独立を視野に入れた学校運営、生徒募集、校舎の新築を具体化しています。既存の中・高等学校とも連携、協力体制を保ちつつ進めています。

③中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、人件費比率は毎年1%近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では63%、中高では60%、こども園では70%以下を前提とした人事政策を実施しています。そのひとつとして、大学、専門学校、中高等学校、こども園、事務職員について人事評価制度を導入し、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度の構築に向けて、評価基準の整備、処遇反映方法等の調整を行なっています。小学校についても2022年度に制度化します。

④地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。各施設、団体より当年度事業計画のトピックスを報告いただき、互いの事業への理解を深める機会としました。また、災害時対応として、地震災害を想定し三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。今後も定期的に訓練を実施していきます。

聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学は「キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション、福祉及び教育・保育の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉と教育・保育に寄与することを目的とする。」と大学学則の中に謳い、地域に貢献し、国際社会においても活躍できる専門職者を育成しています。

大学の中長期事業計画に沿って2021年度は、1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成、2) 内部質保証システムの運用と教学マネジメントによる教育改善、3) 定員確保のための学生募集活動の工夫と充実、4) 地域連携とグローバル教育の推進：全学国際コースの開設、5) 大学の将来構想（国際教育学部設置）の実現に向けた準備、6) 実効性のある教員の働き方改革の推進を重点課題として取り組んできました。

2022年度は2021年度の事業計画の評価をおこない、1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成、2) 2022年度「国際保健医療福祉プログラム」の開設、3) 2023年度「国際教育学部」の開設に向けた準備、4) 教育環境の補修・整備、5) 学生募集・広報力の強化、6) 2023年度認証評価受審に向けた準備を重点課題に掲げて事業計画を立案し取り組みます。

(1) 主な教育・研究の概要

◆「卒業認定・学位授与の方針」

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた保健医療福祉および教育分野の専門職を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各学部は、教育目的に則した教育課程および卒業の資格を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>卒業においては、各学部の教育課程に学び、各学部が掲げる到達目標に到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>看護学部は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供する看護の専門職を育成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の医療・福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えたリハビリテーション専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、課題を解決する実践力を身につけている。 6. 自らの専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、専門職として自己研鑽することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 看護の基盤および看護専門分野の基本的な知識・理論や技能を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係能力と論理的表現力を身につけている。 4. 看護専門分野や諸学の学識を用いて課題を探求し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、対象の特性を踏まえた看護の実践力を身につけている。 6. 看護専門職としての専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、看護専門職として自己研鑽することができる。 <p>なお、養護教諭の教職課程のディプロマ・ポリシーについては、上記に加えて下記の通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育に関する基礎的な教養・技能を身につけている。 (2) 養護教諭として必要な専門的知識・技能を身につけている。 (3) 上記(1)と(2)を活用して児童生徒の健康問題に対応できる実践力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. リハビリテーション専門分野の基本的な知識・理論・技能を体系的に修得している。 3. リハビリテーション専門職者に求められる様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、リハビリテーション上の課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、リハビリテーション上の課題を解決する実践力を身につけている。 6. リハビリテーション領域において自らの専門性と責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、リハビリテーション専門職として自己研鑽することができる。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
卒業認定・学位授与の方針	<p>社会福祉学科と介護福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた社会福祉分野の専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 社会福祉分野の知識・技能を総合的に活用し、対象・課題に応じた支援を提供する実践力を身につけている。 6. 社会福祉専門職としての責務と役割を自覚し、住民や多様な専門職と連携・協働することができる。 7. 社会福祉に関する地域社会および国際社会のニーズを捉え、社会福祉専門職として貢献し、自己研鑽することができる。 	<p>こども教育福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた福祉専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と高い倫理観と教育・保育の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。 2. 教育・保育の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技術を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 設定した課題について自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で議論し、考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技術等を総合的に活用して、個々の子どもに合わせて援助・指導する実践力を備えている。 6. 教育・保育の領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 教育・保育に関する地域社会・国際社会のニーズを捉え、専門職として使命感を持ちながら貢献し、自己研鑽することができる。

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、研究・実践および自らの行動に反映することができる。 2. 専門並びに近接分野(領域)の高度な知識・技能を習得し、科学的かつ論理的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、問題発見と解決を図ることができる。 4. 研究課題を自ら探索し、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者と連携・協働し、リーダーシップを発揮して課題解決に取り組むことができる。 7. 学際的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家と交流することができる。 	<p>看護学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 看護学分野の専攻領域における研究課題に取り組み、独創的な研究テーマを設定して研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、基礎的研究を実施することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、リハビリテーション科学分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p>	<p>社会福祉学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、社会福祉実践において人びとの生活課題の解決・改善を目指し、その枠組みを理論化し、指導的な役割を果たせる有意な人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの活動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学について最新の専門知識・技能を習得し、問題解決に向け科学的で論理的な活動が企画できる。 3. 幅広い知識と視野を持ち、専門応用力を通じて、現在の学術及び臨床課題を抽出し解決する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら探索し、先行研究の調査と詳読を経て、研究テーマを設定し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・分析・考察を行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してコミュニケーションを図り、人々の健康、福祉、教育の課題解決に取りくむことができる。 7. 学術かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉分野における専門知識を習得し、福祉の人間学についての探究心を深め、論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い視野を持ち、専門応用力を身につけ、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 先行研究をレビューした上で、自らの研究課題を発見し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通して、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

《大学院博士後期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界にも通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、行動規範を示すことができる。 2. 専門分野並びに接近分野（領域）の高度な知識・技能を習得し、科学的、論理的かつ創造的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、知の創造に取り組むことができる。 4. 独創的かつ先端的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って研究を実施し、論文としてまとめ発表し、専門分野・領域の発展に貢献することができる。 6. 連携・協働においてリーダーシップを発揮して、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとしての活躍を志向できる。 	<p>看護学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映し自らの行動に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、高度な専門知識・能力を習得し問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、新たな知を創造することができる。 4. 看護学分野の専攻領域の研究課題を自ら発見し、先行研究のレビューを行い、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界に通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、高度専門職業人を育成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの行動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学及び近接領域について高度な専門知識・技能を習得し、探求心と論理的思考力によって自ら問題解決を図ることができる。 3. 幅広い視野と教養を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を通じて、新たな知を創造する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら発見し、先行研究の調査と詳読を経て、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って実施し、自立した研究者・専門職者として論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧および学問の発展に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとして国内外の専門家や学生と交流ができる。 	<p>社会福祉学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識を備え、社会福祉分野における研究基盤をつくり、高度に専門化する社会の要請にこたえる研究能力を有する自立した研究者を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、高い倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉学分野における高度な専門知識を習得し、福祉の人間学について探究心と論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い領域を俯瞰的に把握し、専門応用力を駆使して、生活問題を切り拓く、新たな知を創ることができる。 4. 自立した研究者として、独創的な研究テーマを設定し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 自らの研究を発展させ、研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と学術的な研究交流ができる。

◆「教育課程編成・実施の方針」

	看護学部	リハビリテーション学部
	<p>カリキュラム編成方針は、教育理念・目的、学部の教育目的・目標、DP を達成し、看護師を志すものとして身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 人間や環境についての基礎知識を幅広い視野から体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の成長・発達段階および健康段階、看護の場の特性を踏まえて、対象の理解と看護に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための看護専門領域—の 3 領域から行うものとします。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、看護専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わるキリスト教関連科目・自校教育科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、多様な文化や価値観・生活背景を理解する人間教育に関わる大学教育導入科目と教養基礎科目を配置する。 2. 看護の対象者の課題を科学的・論理的、総合的に理解し、個別性に応じて支援するために、人が生きる環境や身体・心理面の健康、成長・発達を理解するための専門基礎、看護専門科目を配置する。 3. 様々な立場や意見、生活背景をもつ他者を理解し、自らの考えや意見を、対象に応じて正確・適切に、伝達・説明できるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を配置する。 4. 様々な年代の多様な状況にある人々に対して、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の知識・理論、情報、技能等を総合的に活用し、根拠に基づく基礎的な看護技術を駆使し、看護を科学的に実践できる能力を養うために看護専門科目を配置する。 	<p>カリキュラムの編成方針は、教育理念・目的、DP、並びに学部の教育目的・目標を達成するため、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を身につけるため、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 医学的基礎知識と、理学療法・作業療法・言語聴覚学の専門分野の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の疾患と病態、障害特性に応じた理学療法・作業療法・言語聴覚療法の実践に必要な検査・評価と治療・指導・援助に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための専門領域—の 3 領域から編成します。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を理解し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけるため、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く（講義）。また大学での学びの基礎を築き、知識の幅を広げ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うため、大学教育導入科目と教養教育科目を置く。 2. 疾患や病態、心身機能の障害特性を理解し、適切な理学療法・作業療法・言語聴覚療法が実施できるようになるため、医学的基礎知識および各専門分野の基礎的な知識・理論を体系的に理解し、技能を修得する専門基礎科目を置く。 3. 対象者の価値観や立場を尊重した適切な対人関係を築くため、コミュニケーション力と実践力および自己分析能力を養うキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 設定された課題や自身の疑問に対し、自身の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と研究方法論を身につけるため、専門科目、研究基礎科目および各分野の発展的専門科目を置く。

教育課程編成・実施の方針

	看護学部	リハビリテーション学部
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育課程編成・実施の方針</p>	<p>5. 課題解決に向けて、主体的・かつ仲間と協働して看護専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で検討するために、看護専門科目を置く。</p> <p>6. 看護者の役割と責任を自覚し、保健・医療・福祉の関係職種と協働する能力を養うために、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際的視野で物事をとらえる能力を養うために、国内外の医療、保健、看護を学習する科目や語学、海外研修や国際看護実習を経験する科目を配置する。</p> <p>8. 生涯に亘り看護学・看護実践を追求しようとする意欲と信念・価値観を養うために、これまでの看護学の学修を統合し、専門職としての自覚を高め、責務を理解し自己の看護観や研究的視点を深める統合科目を配置する。</p> <p>養護教諭課程では、上記の看護学部のカリキュラム編成方針に加えて、養護教諭を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <p>(1) 教職の意義や職務、教育に関する基礎的知識、児童生徒への理解・対応に必要な発達等の知識を修得するために、教職に関する科目を配置する。</p> <p>(2) 児童生徒の心身の健康課題に対応できる知識・技能を修得するために、養護に関する科目を配置する。</p> <p>(3) 学校現場において児童生徒や教職員と関わり、学校保健活動を行う実践力を養うために、教育実践に関する科目を配置する。</p>	<p>5. 対象者の疾患と病態、障害特性を適切に理解し、基礎的な理学療法・作業療法・言語聴覚療法の基礎的な検査・評価と治療・指導・援助技能を修得するため、専門科目および臨床教育科目を置く。</p> <p>6. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技能を修得するため、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際感覚および語学力・表現力を養うため、語学や海外研修および実習の科目を置く。</p>

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>カリキュラム編成方針は、社会福祉士・介護福祉士を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や社会福祉士・介護福祉士の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な社会福祉・介護福祉の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、社会福祉、介護福祉の専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な社会福祉援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や社会福祉の各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し修得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な社会福祉援助法の実践のため、各専門分野の基礎的な評価や援助技術を修得するために専門科目を置く。 	<p>カリキュラム編成方針は、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、小学校教諭、幼稚園教諭、(保育教諭)、保育士の教育・保育の専門職者として高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な教育・保育の指導・援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し取得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な教育・保育方法の実践のために、各専門分野の基礎的な評価や指導・援助の技術を修得するために専門科目を置く。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 社会福祉、介護福祉の専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚および語学力・表現力を養うために語学や海外研修および国際福祉実習の科目を置く。</p>	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、自分の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚(異文化理解)および語学力・表現力を養うために語学や海外研修、国際ボランティア及び国際福祉実習の科目を置く。</p>

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科		
教育課程編成・実施の方針		<p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 4. 高度実践看護コースにおいては、高度看護実践に必要な高い専門知識と高度看護実践能力を修得するための資格認定に必要な科目を置く（基盤科目・専門科目）。 		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>リハビリテーション科学研究科</th> <th>社会福祉学研究科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論、専門的臨床技能及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 </td> <td> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と社会福祉学に求められる関連諸科学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉原理・援助領域に必要な各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 </td> </tr> </tbody> </table>	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科			
<p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論、専門的臨床技能及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 	<p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と社会福祉学に求められる関連諸科学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉原理・援助領域に必要な各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 			

《大学院博士後期課程》

		大学院共通	看護学研究科
教育課程編成・実施の方針			教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。 1. 多職種と連携する資質を磨き、実務者として高度な知識と指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。
			リハビリテーション科学研究科
		教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。 1. 多職種と連携する資質を磨き、倫理観、学識、幅広い知識、人間性及び指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。	教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。 1. 社会福祉の高度専門職として、多職種連携ができる資質を磨き、高度な知識と指導力を身に付けるための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉学の自立した研究者として、専門性を進化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。

◆「入学者受入れの方針」について

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	どのような力を発展・向上させるのか	看護学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供するために、進歩する看護専門分野および関連諸学の知識と技能を統合し、多職種連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できる看護学分野の指導的人材として労を厭わぬ実践ができる看護専門職者を育成することを目的とします。	リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できるリハビリテーション分野の指導的人材となる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成することを教育目的とします。したがって、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として必要な「相手の心を理解し尊重するという基本的態度」と「高度な専門的知識および実践的な専門技能」の二つの能力を修得し発展・向上させます。

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じように、他の人々を尊ぶことのできる人間性を備えた看護専門職を志す人 ・科学的思考力を身につけ、深い教養に支えられた看護専門職をめざして学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職を志す仲間と共に連携・協働して課題解決することに関心が高い人 ・看護専門職として社会に貢献する意欲のある人 	<p>前述の人材育成を目標としていることから、次のような資質を有する学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」を尊重し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として人格を磨くことのできる人 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の使命と役割を理解し、それを担う意志のある人 ・教養と理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の知識と技能を身につけ成長するため、自ら学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職者と多職種連携・協働して課題解決に努め、リーダーとして成長しようとする人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学分野の発展と、地域社会および国際社会の課題解決に貢献するため自己研鑽できる人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の学問の発展のために国内外で学究活動に携わることを志す人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、他者による表現を理解出来る読解力と、自己の考え・感情を適切に表す表現力 ・地理歴史・公民については多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、論理的な思考を可能とするための数学的素養 ・理科については、看護を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、広く国際社会の人達とのコミュニケーションを実現できる能力としての英語理解と英語による表現力 	<p>人の心身機能・構造および活動とそれらの障害を理解し、理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の理論と技能を修得する上で、高等学校までに次のような基礎学力を有していることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語による思考力および伝達力 ・地理歴史・公民については、多様な文化や歴史、価値観、生活背景をもつ他者を理解するために必要な基礎知識 ・数学については、論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能 ・理科については、自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学（物理、化学、生物）に関する基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション力

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針 入学者選抜の基本方針		<p>看護学部では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。看護学部の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、社会人選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力）を評価します。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ます。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を評価します。 	<p>リハビリテーション学部では、学力の3要素である①「基礎的・基本的な知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性をもって他者と協働して学ぶ態度」を総合的にみる、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、グループワーク、面接および小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）をみます。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や課外活動の履歴から、主体性や協調性をみています。 ・グループワークでは、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・面接では、目的意識、意欲、自己表現力、目標や将来のビジョンを確認しています。 ・小論文では、総合的な読解力、発想力、論理的思考力、表現力をみています。

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針 どのような力を発展・向上させるのか		<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立を支援する高度な知識・技術と関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と支援を必要とする人々を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、社会福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>	<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の教育・福祉のために、関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた教育・福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と対象者を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、教育・福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、社会的不公正を問う人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・社会福祉、介護福祉を学び、この分野でリーダーとして活躍したいという強い意志と意欲をもつ人 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、人間と社会の発展に寄与する熱意のある人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・保育・教育（幼稚園・小学校）・社会福祉を学び、よりよい保育・教育・福祉の実現を目指して、高い倫理観と使命感をもって主体的に学修に専念する人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、論理的思考をするための基礎となる読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、地域社会に働きかける専門職者として、社会福祉に関する法律・制度を理解し、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、問題解決を可能とするための論理数学的思考力 ・理科については、専門領域を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力 	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、保育・教育・福祉の専門職者として論理的思考及びコミュニケーション力を支える読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、保育・教育・福祉の専門職者として、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、保育・教育・福祉の専門職者として、問題を系統立てて考え、解決に導くための論理数学的思考力 ・理科については、保育・教育・福祉の専門職者として必要となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力と「世界」に視野を広げる挑戦意欲とコミュニケーション力
	入学者選抜の基本方針	<p>社会福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、3年次編入学試験を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見ています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ています。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見ています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見ています。 	<p>こども教育福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見ています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ています。 ・面接では、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見ています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見ています。

《大学院博士前期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の実践や研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. リハビリテーション科学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする意欲を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

《大学院博士後期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究を行った経験を有している人 3. リハビリテーション科学領域の研究課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践や研究の中で生じた独自の課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学び、将来共に活動する志向を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、介護福祉の知識・技術・価値・理念と隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを目的としています。

2021年度は開設から6年目を迎える節目として、1978年のヘルパー学園の教育を学び、初心に帰りその理念を発展的に継承していくため、先人たちが目指した教育をさらに発展できるように、教員自身が自覚的に教育や学生支援に取り組みました。また、留学生7名が入学し、外国人も日本人も違和感なく、同じ空間で学びができるように、教育環境を整備し日々の学生支援を強化しました。同様に学力の低い学生や、勉強の仕方がわからない学生等、多種多様な困難性を抱えた学生も、だれ一人疎外感を感じることはないように注意し、学級運営を行いました。

2022年度は建学の精神である生命の「尊厳と、隣人愛」の教育活動・行事等の充実した運営を行ないます。専門学校の特徴である「礼拝」や「はじめの会」、「終わりの会」を大切に学生による運営がスムーズに行えるように支援します。それらを通し自分で考え行動でき、かつ自由にしかし礼節を知る学生を涵養していきます。そのために教員全員が学生ひとりひとりを大切にし、質の高い教育実践を追及します。2022年度は6名の外国人留学生在が国家試験を受けることとなります。全員が国家試験に合格できるように国家試験対策に一層注力します。

聖隷クリストファー中・高等学校

◆本校の目標

- ①建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉をもとに、真理と愛に立脚し「人のために役立つ」姿勢を持ち、明るい未来を拓き実践する人材の育成を目指す。
- ②「隣人愛を基盤とした聖隷学園一貫グローバル人材推進構想」を実現し、日本と世界に発信し、地域に信頼される学校を目指す。

生徒一人一人が、この学園での学びを通して、自分に与えられている個性や賜物(たまもの)を発見し、人生の意味を考え進路を選び、この学園で培われた価値観を土台として生きる人となるよう願っています。

普遍の価値に軸足を置き、多様に変化する現代社会に責任を持って関われる、躍動する学園であることを目指します。

聖隷クリストファー小学校

◆本校の教育理念

キリスト教精神の隣人愛を基に、日本文化を理解した上で、グローバル社会に貢献できる児童の育成を目指します。

そのために、奉仕活動や学校生活を通して、他人を思いやる心や行動力を養います。また、身の回りの現象を題材にしながら教科横断型の探究学習で、探究力、思考力、コミュニケーション力や表現力を養います。それが基礎となり、母語の日本語を重視した上での英語イマージョン教育を行うことによって、二言語習得を目指し、多様な見方や場に応じた志向・判断ができる人を育てます。

このように、隣人愛に根差し、探究学習と英語イマージョンを融合した聖隷の教育によって、未来に向かって主体的に学んでいく力や自信をもって挑戦していく姿勢が身につくよう、一人ひとりの子どもを大切に導いていきます。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。2021年度より、クリストファー小学校との一体的プログラムとして、国際バカロレア 初等教育（IB PYP）の導入に取組み、1月に候補校として認定されました。引き続き連携を図り、「聖隷 IB モデル」の実現と、2024年度の認定校（IB ワールドスクール）を目指します。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い命が守られながら、生き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、多様性と調和を大事にし、世界の平和に貢献しようとする姿勢を育みます。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。
- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関わるあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- <愛> 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にする気持ちをもつ。
- <思いやり> 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。
- <たくましさ> 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。
- <いのち> 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。
- <表現力> 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。
- <自立> 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 多様な文化の理解と尊重の精神を培い、より良い、より平和な世界を築くことに貢献しようとする姿勢、探究心、知識、思いやりの態度を育みます。
- ③ 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ④ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

(2) 中期的な計画（教務・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

聖隷クリストファー大学

中長期事業計画「未来創造躍進プラン」

＜建学の精神＞ キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」

＜教育理念＞ 建学の精神を教育・研究・諸活動の基本理念とし、建学の精神に裏付けられた保健医療福祉・教育の専門職業人を育成することによって、人々の健康と幸福、そして地域と世界の福祉に貢献します。

＜ビジョン＞ 保健医療福祉・教育の未来を創造する 教育・研究・実践のフロンティア大学

＜キャッチコピー＞ 隣人愛と知の技で 共に生きる社会の実現へ 聖隷クリストファー大学

＜ミッションステートメント＞

- 1) 建学の精神であるキリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を大学運営並びに教育・研究・実践に活かし、人々の幸福と健康、地域とアジアの保健医療福祉・教育の未来創造に貢献する。
- 2) 保健医療福祉・教育の総合大学としての学際性を活かした独創的教育を提供し、建学の精神に裏付けられた豊かな人間性と倫理観、教養と専門的知識・技能を兼ね備え、一人ひとりのために労を厭わぬ専門職を育成する。
- 3) 大学院博士前・後期課程をもつ大学として、卓越した研究成果と知を創造し、保健医療福祉・教育の発展に貢献する高度専門職者並びに研究・教育者を輩出する。
- 4) 社会に開かれた大学として、地域社会における保健医療福祉・教育に関する教育・研究・実践の拠点を形成し、共生社会の実現への使命を果たす。
- 5) 国際的な保健医療福祉・教育の課題解決に向けて、本学の人的・知的・技術的・教育環境の資源（聖隷ブランド）を活かした国際支援及び人材育成により国際貢献に資する。
- 6) 時代を先見し、自律的な自己点検評価と大学改革の実行により、保健医療福祉・教育のモデル大学として学界・教育界をリードする。
- 7) 教職員一人ひとりが個人として尊重され自律性が認められるとともに、自己成長と協働により大学（聖隷学園）の新たな価値創造と発展に努める。

<長期目標（10年後）>

- 【教育】 建学の精神と教育理念のもと、聖隷ブランドを活かした先進的かつ独創的な教育環境と教育課程及び教育方法による「聖隷教育モデル」を創出する。
- 【研究】 保健医療福祉・教育分野の独創的かつ学際的な研究を推進するとともに、国内及びアジアの中核となる研究・教育拠点を形成し、新たな学問体系を創造する。
- 【学生支援】 隣人愛の精神を涵養し、主体的に豊かな学生生活を送ることができる「愛と活気あるグローバルキャンパス」をつくり、愛校心と帰属意識を醸成する。
- 【就職・キャリア支援】 保健医療福祉・教育の動向と展望に基づいた病院施設等との連携体制の再整備と、卒業生・同窓会との強固なパートナーシップに基づく相互支援体制を構築する。
- 【地域連携】 地域の保健医療福祉・教育の基幹大学として、地域の保健医療福祉の発展に向けた大学-地域連携による教育・研究・実践の地域モデルを構築する。
- 【国際化】 国際的に競争力ある大学を目指して、積極的に国際交流・支援及び人材育成を展開し、アジアの保健医療福祉・教育の教育・研究・実践のハブ（Hub）大学に発展する。
- 【学生募集】 情報と企画に基づく戦略的広報活動と、高大連携及び幼小中高大・卒業生循環型の募集活動等により、募集定員を堅持するとともに、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に基づいた人材を受け入れる。
- 【基盤整備】 質の高い教育・研究を支える人事・組織・施設設備の充実を図るとともに、内部質保証システムに基づいた自律的な自己点検・評価を実施し、大学運営及び教育研究の質の向上を促す。また、建学の精神と教育理念を遵守・維持し継続的発展を担う幹部教職員を育成する。

<中期・短期計画一覧>

最重点課題

- (1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成
- (2) 2022年度「国際保健医療福祉プログラム」の開設
- (3) 2023年度「国際教育学部」の開設に向けた準備
- (4) 教育環境の補修・整備
- (5) 学生募集・広報力の強化
- (6) 2023年度認証評価受審に向けた準備

分類	中期目標 (2024～2026 年度)	中期目標：客観指標 (2024～2026 年度)
看護学部	<p>①学部・専攻科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。</p> <p>②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。</p> <p>③社会の看護師養成の政策動向を的確に判断し、それに適う学部・専攻科－大学院 (CNS・NP を含む) －特定行為研修が有機的に機能する組織体制を構築し、人材養成のための教育を行う。</p>	<p>○実質倍率 (一般選抜前期受験者数：合格者数)：1.8 以上</p> <p>○偏差値：47.5 以上</p> <p>○標準修業年限卒業率：95%以上</p> <p>○国家試験の合格率：全国大学平均値以上</p> <p>○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：70p 以上</p> <p>○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：80p 以上</p> <p>○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上</p>
	中期計画 (2024～2026 年度)	短期計画 (2022～2023 年度)
	<p>○「新教育課程」の実施及び看護実践力を高めるための教育方略として創出した2ブロック制による講義・演習・実習を実施し、形成評価を着実にを行い、2025年度末に4年間の評価に基づく課題と改善点を明らかにする。</p> <p>○アクティブラーニングを活性化するための教育方法を創出し、独創的な教育を発展させる。</p> <p>○学部・専攻科－大学院 (CNS・NP を含む) －特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制を構築する (領域統合・再編、教員配置、専攻科の将来構想の策定を含む)</p>	<p>○学部・専攻科の教育特徴・資源を活かし社会のニーズを捉えた新教育課程の実施と形成評価</p> <p>・2ブロック制 (治療療養支援看護群・発達支援看護群) の各群での領域を超えた講義・演習の構成、及び領域間の連携科目による教育の実施</p> <p>・ICT 活用による教育の質向上のための教育力向上、シミュレーション教育の充実、教材開発、臨床・他大学との協働</p> <p>○教員充足と人材育成</p> <p>○特定行為研修の充実</p>

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
社会福祉学部	<p>①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。</p> <p>②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。</p> <p>③社会の要請に応え得る質と数の介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・認定心理士（公認心理師）を養成し輩出する。</p>	<p>○実質倍率（一般選抜前期受験者数：合格者数）：1.2 以上</p> <p>○偏差値：42.5 以上</p> <p>○標準修業年限卒業率：95%以上</p> <p>○国家試験の合格率：全国大学平均値以上</p> <p>○介護福祉士取得希望者：20 名</p> <p>○社会福祉士取得希望者：45 名</p> <p>○精神保健福祉士取得希望者：25 名</p> <p>○公認心理師取得希望者：15 名</p> <p>○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：60 p 以上</p> <p>○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：60 p 以上</p> <p>○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上</p>
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
<p>○入学定員の充足</p> <p>○教員体制と教育環境の充実 公認心理師養成課程担当教員の適切な配置</p> <p>○介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師の人材育成と輩出</p> <p>○「子ども家庭ソーシャルワーカー」（仮称）養成に向けての情報収集、必要に応じての準備</p>	<p>○入学定員の充足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認心理師養成課程（「福祉心理コース」）新設について周知をはかる <p>○公認心理師養成課程開設に向けての準備と円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程表を整える ・公認心理師養成課程教員について、2023 年度から完成年度に向けての配置計画を策定する <p>○介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の人材育成と輩出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉コース希望者をコンスタントに獲得する ・国家試験対策の拡充をはかる <p>○「子ども家庭ソーシャルワーカー」（仮称）資格化の動向に関する情報収集</p> <p>○聖隷クリストファー介護福祉専門学校との質の高い介護人材養成に向けた連携・協働</p>	

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
リハビリテーション学部	<p>①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。</p> <p>②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。</p> <p>③国際リハビリテーションコース（2024 年度終了）および国際保健医療福祉プログラム（2022 年度開始）の着実な実施により、国際的活躍を指向するリハビリテーション専門職者と教員の養成を推進する。</p> <p>④地域包括ケアシステムを視野に入れ、地域に貢献する学部として、臨床・研究・教育実践モデルを構築する。</p>	<p>○志願者実人数（一般選抜前期）：PT160 名、 OT120 名、ST90 名</p> <p>○偏差値：PT47.5、OT42.5、ST40 以上</p> <p>○標準修業年限卒業率：95%以上</p> <p>○国家試験の合格率：全国大学平均値以上</p> <p>○国際コース・プログラム履修者：6 名</p> <p>○国際的活動に関連する進路選択（2 名進路）国際支援に関連する団体施設等への就職、大学院、留学など</p> <p>○「地域リハビリテーション実践教育センター（仮称）」を 2025 年度に開設する。</p> <p>○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：PT 学科・OT 学科 60 p 以上／ST 学科 50 p 以上</p> <p>○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：PT 学科・OT 学科 60 p 以上、ST 学科 50 p 以上</p> <p>○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：90%以上</p>
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	<p>○国際リハビリテーションコースの修了（2024 年度）と国際保健医療福祉プログラムへの移行と発展</p> <p>○3 学科の特色を活かした着実な広報活動</p> <p>○企業との連携体制の維持および強化（産学連携による教育・実践モデルの構築）</p> <p>○「地域リハビリテーション実践教育センター（仮称）」の開設に向けての体制整備</p> <p>※2024 年度リハビリテーション学部 20 周年記念事業として位置づける。</p>	<p>○国際リハビリテーションコース（2024 年度修了）および国際保健医療福祉プログラムの着実な展開（大学院との接続による卒業生の発展的な進路提供）</p> <p>○定員充足のための着実な広報活動</p> <p>○企業との連携体制の形成および強化（連携モデルの構築）</p> <p>○リハビリテーション学部の 3 学科の特色を活かし、地域高齢者、発達障害（言語発達含む）を持つ方をサポートする実践教育センターの検討</p>

国際教育学部 (2023年度開設予定)	中期目標 (2024~2026 年度)	中期目標：客観指標 (2024~2026 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③社会の要請に応え得る質と数の幼稚園教諭・保育士・小学校教諭・国際バカロレア教員・特別支援学校教諭・認定心理士（公認心理師）を養成し輩出する。 ④将来の教育と心理分野の人材養成に適う国際教育学部大学院の将来構想を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定員充足 ○偏差値：42.5 以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○採用試験の合格率：浜松市・静岡県内大学平均値以上 ○小学校教諭養成：15 名 ○認定心理士：10 名 ○発達支援士（仮称：本学認定資格）：25 名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：60p 以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：60p 以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：90%以上
	中期計画 (2024~2026 年度)	短期計画 (2022~2023 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ○入学定員の充足 ○教員体制と教育環境の充実 ○社会の要請に応え得る質と数の小学校教諭・幼稚園教諭・保育士および国際バカロレア教員・特別支援学校教諭・認定心理士（公認心理師）の人材育成と輩出 ○「国際教育学部」設置後の教育課程や教育環境等の整備 ○クリストファーこども園・小学校との国際バカロレア教育に関する日常的な実践研究・情報交換など連携・協働体制の構築 ○「国際バカロレア教員養成プログラム」の5年（2025年度）経過後の審査の準備 ○教職センターの整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○「国際教育学部」設置に向けて準備を整え、初年度、円滑に運営する ○入学定員の充足 ○教員体制と教育環境の充実 ○小学校教諭・幼稚園教諭・保育士および国際バカロレア教員の人材育成と輩出、並びに特別支援学校教諭の人材育成と輩出の支援 ○クリストファーこども園・小学校との国際バカロレア教育に関する日常的な実践研究・情報交換など連携・協働体制の検討 ○「国際バカロレア教員養成プログラム」の現職教員向けプログラムの開始 ○教職センターの設置

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
大学院共通	<ul style="list-style-type: none"> ①保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門的知識と技能を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する。 ②研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉の新たな知の創造を目指す。 ③アジアを中心としたグローバルな保健医療福祉の研究・教育拠点を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前期・後期大学院生の定員充足 ○学部からの進学者数：10%以上 ○各研究科留学生：1名以上 ○国際コンファレンスの定例開催
分類	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
看護学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○保健医療福祉分野のイノベーションをリードするための高度な専門職者、教育者の輩出 ○地域の専門職者及び学問分野に寄与するとともに、領域を超えた研究活動の推進 ○学内循環型の人材育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学部・学科・研究科の教育特徴の創出 ○地域の専門職者及び学問分野に寄与する、研究活動発展のための研究プロジェクトの構築 ○学部・学科・研究科の連動企画の立案と実践
分類	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
理学ハビリテーション研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○前期・後期の定員充足 ○国際共同研究・国際共同教育の実践 ○研究成果の公表方法の確立（出版会等） ○研究計画・学位審査方法の確定 	<ul style="list-style-type: none"> ○学内推薦入試（前期・後期）の実施 ○国際共同研究・国際共同教育の実践 ○研究成果の公表方法の検討・確立（出版会等） ○研究計画・学位審査方法の検討 ○院生募集強化策の立案と実践
分類	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
社会福祉学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○博士前期課程の定員充足（「1 教員 1 院生」を目標とする） ○院生の研究指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の社会福祉関係者向けの講座やシンポジウム、研修等の機会を活用し、さらに、キャリア支援センターと連携して大学院の PR を進めていく。 ○研究指導のための教員間連携体制を強化するとともに、学部と連携して計画的な大学院教員人事を図る。

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
教育	<ul style="list-style-type: none"> ①学生の自律学修を促し創造性を養うため、アクティブラーニングによる授業を推進し、ICTの活用や地域における実践活動による教育方法を開発する。 ②学位授与方針に適した保健医療福祉の専門職を輩出するため、適正な成績評価を実施する。 ③国際社会に貢献できる人材を育成するため、学生及び教員の英語教育と国際交流・活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域実践アクティブラーニング、国際支援アクティブラーニングの実践活動と参加学生の推移 ○レポート評価・演習・実習科目におけるルーブリック活用：全科目実施 ○ODP 到達評価、社会人基礎力評価の実施（学生－教員－教学改革） ○学生の国際研修、国際支援アクティブラーニングの参加推移 ○ティーチング・ポートフォリオの全科目実施
	中期計画（2024～2026年度）	短期計画（2022～2023年度）
	<ul style="list-style-type: none"> ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化による教育と人材養成の質保証（学問分野別の質保証）の体制の構築 ○データがたまる、つながる仕組みの構築、学習の理解度、習熟度向上につながる教材、コース設計 ○地域実践アクティブラーニング、国際支援アクティブラーニングの発展的展開 ○国際保健医療福祉プログラム（副専攻）の点検・評価と改善（2025年度完成） ○ティーチング・ポートフォリオの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化による教育と人材養成の質保証（学問分野別の質保証）の体制の構築 ○ICT 活用や e ポートフォリオ等の学修ツールの活用定着 ○地域実践アクティブラーニング、国際支援アクティブラーニングの発展的展開 ○国際保健医療福祉プログラム（副専攻）の確実な運営（2022年4月開始） ○全学教職課程委員会の整備 ○ディプロマサプリメントの発行 ○ティーチング・ポートフォリオの実施

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ①隣人愛の精神のもと愛と活気あるグローバルキャンパスを作る。 ②学修につまずきのある学生に対する全学的な支援体制を整備する。 ③健やかで豊かな学生生活を実現するため、学生の心身の健康や生活及び経済的な支援を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事件・事故の発生件数：前年度以下 ○満足度調査（他学部の学生と交流できた／サークル等を通じて他学部の学生との交流がある）の満足度指数を改善する。
	中期計画（2024～2026年度）	短期計画（2022～2023年度）
	<ul style="list-style-type: none"> ○学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実 ○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働 ○学部を超えた学生交流の機会創出 	<ul style="list-style-type: none"> ○学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実 ○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働 ○学部を超えた学生交流の機会創出 ○国際人育成のためのグローバルキャンパス

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
FD	①学生支援並びに教育に向けた教職員の資質向上を目指し、各種研修会の充実と教職員・学生の連携を促す。	○学部 FD 研修会、全学 FD/SD 修会：参加率 100% ○授業評価の実施：100% ○ピアレビューの実施：100% ○学生評価指標：2022 年度内に検討する。
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	○教職－学生共同による全学・学部 FD 活動の強化（FD サロンなどの充実・広報活動への参加協力・他大との学生 FD 交流など） ○学生の動機付けモデルに基づいた授業評価による授業改善・向上の強化（学部/全学 FD 研修の充実・学生の動機付けモデルに基づいた授業評価の検討と策定など） ○学生 FD スタッフの全学的な組織化、並びに教育改善活動への参画体制の強化	○ピアレビューや授業評価による授業改善・向上のさらなる推進（FD 研修と FD サロンの充実・学生の動機付けモデルに基づいた授業評価の検討と策定など） ○学生 FD スタッフの全学的な組織化と教育改善活動への主体的な学生参加の促進（他大との学生 FD 交流を含む）

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
就職・キャリア支援	①在学生・卒業生の多様で豊かなキャリアを支援する。 ②病院施設等と保健医療福祉・教育の最新動向や方針を共有し、長期スパンで相互に助け合い、高め合う協力体制を目指す。 ③卒業生の母校への絆を育成するため、本学を卒業したことの魅力を再認識してもらう。	○就職率 100%（就職希望者に占める割合） ○卒業生満足度調査項目「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：満足度指数 65 以上 ○病院施設への訪問：年間 20 か所以上 ○病院施設説明会参加数：各学部 20 施設以上 ○ホームカミングデーの参加者数：前年度比増
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	○病院施設等との懇談会、訪問、アンケート調査を通し、積極的に情報発信および情報収集を行い、それを学内へ還元する。 ○広報誌・同窓会報・ホームページ等を通して、卒業生目線を持ち、聖隷の魅力を伝える。	○国際教育学部設置に伴う教職センターの開設および体制の確立 ○保健医療福祉・教育や最新の動向を踏まえたキャリア支援を行う。

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
国際化	①グローバル化を発展させるため、本学の資源を活用して、アジアを中心とした国及び地域・機関等と共同事業や人材育成を発展させる。 ②留学生の受け入れのための基盤整備を充実させる。（経済支援、学内組織、教育体制、教員の英語力強化の取り組み）	◇留学生受け入れ：5人、短期100人 ◇学生の海外派遣：短期100人／年 ◇海外大学との交流協定校締結：10件 ○国際支援アクティブラーニングの事業と参加学生の定着：20%以上
	中期計画（2024～2026年度）	短期計画（2022～2023年度）
	○グローバル化の発展に向けた教育環境の整備 ○優秀な外国人留学生受け入れ	○グローバル化の発展に向けた教育環境の整備 ○優秀な外国人留学生受け入れ

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
研究	①研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉・教育の学術の発展に寄与する。	○科研申請率：80% ○科研採択率：30% ○年間1教員1学会発表（公演等含）・1論文発表（書籍等含） ◇受託研究、共同研究の件数：10件／年
	中期計画（2024～2026年度）	短期計画（2022～2023年度）
	○科研費等学外研究費獲得の推進 ○産学連携事業・研究の推進	○科研費等学外研究費獲得の推進 ○産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
地域連携	①地域の保健医療福祉・教育の発展と地域振興に資する大学として、自治体や他大学等と連携共働の事業を推進する。	○浜松市ウエルネス推進協議会参画団体との共同事業実施：3件／年 ○浜松市と大学との連携事業～大学生による講座：6講座／年 ○地域連携事業費の応募件数：10件／年 ◇オープンカレッジ（公開講座・シンポジウム）の実施件数：15件／年
	中期計画（2024～2026年度）	短期計画（2022～2023年度）
	○保健医療福祉・教育分野で浜松市との連携の継続 ○地域連携事業の発展による教育・研究・実践の地域モデルの構築	○保健医療福祉・教育分野で浜松市との連携の継続 ○地域連携事業の発展による教育・研究・実践の地域モデルの構築

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
学生募集	<ul style="list-style-type: none"> ①アドミッション・ポリシーに適した資質の高い入学者を受け入れる。 ②こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。 ③保健医療福祉及び教育の総合大学としての価値とブランド力の向上を図る。 ④高大接続改革、学習指導要領の改訂に対応した入試制度となっているか、毎年実施する追跡調査も参考に見直しを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定員充足率：100% ○河合塾入試難易度 看護・理学 47.5、作業 42.5、言語 40.0、社会福祉 40.0、国際教育 40.0 ○メディア掲載数：20件/年間 ○併設高校進学者割合：20% ◇オープンキャンパス来場者数：1,600人／年
	<p>中期計画（2024～2026年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定員確保に向けた積極的な募集広報活動 ○学園内、卒業生循環型の募集体制の確立 ○情報収集と企画に基づく戦略的な募集広報活動の展開 ○継続的な入試制度の点検、見直し 	<p>短期計画（2022～2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇定員確保 ○募集広報活動の見直しと取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の学生募集体制の確立 ○高大連携校との強固な関係構築 ◇入試改革 ○2025年度新課程入試への対応 ○学校推薦型選抜の評価と見直し

分類	中期目標（2024～2026年度）	中期目標：客観指標（2024～2026年度）
ICT	<ul style="list-style-type: none"> ①社会の技術革新に適う人材育成に向けた、ICT等の教育ツールの活用と教育・学生支援を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全学LANの10Gbps対応、教育研究基盤保証型、高信頼性の確保およびクラウド移行
	<p>中期計画（2024～2026年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パソコン必携を前提とした双方向型の授業展開、成果物や思考過程の可視化を推進 ○学術情報ネットワークを活用した、高速、大容量、他大学連携に対応した教育研究基盤整備 	<p>短期計画（2022～2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業、演習での必携パソコンの全面的な活用 ○5年後、10年後を見通したICT計画の策定

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
基盤整備(1)組織運営	<p>①社会の情勢変化や保健医療福祉分野へのニーズに対応し、また大学ブランド力を発展させるため、学部・研究科の体制を有効・効果的かつ柔軟に編成・整備する。</p> <p>②大学の継続的発展のため、卒業生の中から本学の将来を担う優秀な人材を育成して、本学の歴史と教育理念を継承する。</p> <p>③教育研究並びに諸活動の質の向上を促すため、公正かつ適切な教員評価を実施する。</p> <p>④次世代を担う幹部教職員を育成し、活力あるイノベーティブな教職員組織を形成する。</p> <p>⑤業務の効率化・合理化とコスト管理を行い、資源の有効活用を促す。</p>	<p>○人件費比率 65%未満</p> <p>○教員一人あたりの学生配置数：13 人未満</p> <p>○教員年齢分布：40 未満 1/6、41～50 歳 2/6、51～60 歳 2/6、61 歳以上 1/6</p> <p>○卒業生・大学院修了生の教員配置：1/3</p> <p>○本学卒業生を教員として積極的に採用し、専任教員に占める本学卒業生の割合：50%</p> <p>○幹部教職員の育成</p>
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	<p>○教員配置計画に対する教員の充足</p> <p>○教員配置、非常勤講師、準教員の適正配置</p> <p>○卒業生の教員採用</p>	<p>○教員配置、非常勤講師、準教員の適正配置</p> <p>○教員評価制度の評価方法の見直し</p> <p>◇教職員の働き方改革</p> <p>○組織運営・資源（人・金・物・時間）活用の見直し</p> <p>○働き方改革関連法施行に伴う教員の働き方改革の推進と教員活動記録の様式の改善見直し</p>

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
	<p>①快適な学習環境の実現と主体的な学修の推進および学修力の向上を促すため、教育環境の点検と整備・充実を図る。</p> <p>②教育研究環境の充実を図るため、各種補助金を獲得及び教育発展基金を開設する。</p>	<p>○教育改革推進経費（学長裁量経費）の見直し（教育研究経費の5%以上）</p> <p>○「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ3「プラットフォーム形成」）の採択</p> <p>○他大学との教養教育共同化及び単位互換</p> <p>○教育発展基金：開設</p>
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
基盤整備(2) 教育研究環境の整備	<p>◇プラットフォームふじのくに地域・大学コンソーシアムにおける活動計画の実施【①県内の経済4団体と県内大学生との意見交換会（年2回）、②県内の経済4団体とプラットフォームとの意見交換会（年1回）、③社会人のキャリア形成を目的とした共同プログラムの策定（1件）、④県内の高等教育機関の共同学生募集活動（年3回）、⑤県内の高等教育機関のBCP策定】</p> <p>○校舎・教室等の保全と改修・修繕</p> <p>○教育発展基金の開設（制度・受け入れ窓口の開設）</p> <p>○ICT環境の高度化、情報システムの統合・集約（認証方法の統一、情報の一元化）</p>	<p>○教育発展基金の開設（制度・受け入れ窓口の開設）</p> <p>○ICT環境の高度化、情報システムの統合・集約（認証方法の統一、情報の一元化）</p> <p>○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」（プラットフォーム形成推進委員会）の継続的な参画</p> <p>○校舎・教室等の保全と改修・修繕</p>

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
	①内部質保証システムを有効に機能させ、自律的に自己点検・評価と改善を図るとともに、適切に情報公開する。	<p>○IR有効活用等による教学マネジメントの体制構築と適切な運用（PDCAサイクル）</p> <p>○認証評価受審適合判定（2023）</p>
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
基盤整備(3) 内部質保証及び情報公開	○認証評価受審後の改善事項の対応	<p>○認証評価受審の準備（2022）と受審（2023）</p> <p>○教学IR委員会と自己点検・評価運営委員会との連携による教育改善</p>

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
基盤整備 (4) 安全管理	①安心・安全な教育研究環境を提供するため、学内・職場の安全・衛生管理の推進、及び情報セキュリティの基本方針に沿った情報管理に努める。	○コンプライアンス案件：0 ○ハラスメント案件：0 ○教職員のストレスマネジメント：偏差値 50 ○「本学がハラスメントの報告や相談を安心してできる職場であるか」という主旨の質問項目を設け、実情を把握する。
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	○リスクマネジメントの強化 ○ハラスメントのない大学環境を創出する。 ○BCP（Business Continuity Plan、緊急事態時の被害を最小限に抑え、事業が継続できるように対策や方法をまとめた計画）対策、データバックアップ、障害早期復旧体制の強化	○リスクマネジメントの強化 ○ハラスメントのない大学環境を創出する。 ○ハラスメント対応を専門とする職員の配置の可能性について検討する。

分類	中期目標（2024～2026 年度）	中期目標：客観指標（2024～2026 年度）
基盤整備 (5) その他	5) その他 ①学園の将来構想（グローバルスクール：国際教育学部、メディカルスクールの設置）に向けた大学改革を実行する。	○大学の将来構想の設計
	中期計画（2024～2026 年度）	短期計画（2022～2023 年度）
	○「メディカルスクール」の開設準備 ○国際教育学部の学科増または定員増および教育・心理学研究科の設置（2027 年 4 月）の準備をする。 ○2026 年度内に中長期事業計画を見直す。	○2023 年 4 月「国際教育学部」の開設準備

聖隷クリストファー大学 2021 年度事業計画 評価

◎：目標を達成した ○：おおむね目標を達成した △：行動計画は実施したが目標を達成できなかった
▲：行動計画が未実施で目標を達成できなかった

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
看護学部	学部の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。	学部の教育特徴・資源を活かし社会のニーズを捉えた教育課程の作成と評価体制	1-① 2022 年度実施の社会のニーズを捉えた新カリキュラムについて、文科省に提出する	○
	社会の看護師養成の政策動向を的確に判断し、それに適う学部・専攻科－大学院（CNS 含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織体制を構築し、人材養成のための教育を行う。	学部内の領域が有機的に機能する組織・教育体制の構築（領域統合・再編、教員配置） 教員充足と人材育成	1-② 社会情勢を反映し、各領域を有機的につなげて教育を行うために、看護専門領域統合・再編成に向けて科目間の連携を進める	○
			1-③ 社会のニーズに即した人材育成を効果的に行うための、看護専門領域再編に基づいた人員配置の実施。	△
			1-④ 看護学研究科と連動し、学部からの大学院進学者を増やす	
科 助産学専攻	専攻科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。	専攻科の教育特徴・資源を活かし社会のニーズを捉えた教育課程の作成と評価体制	2-① 2022 年度「助産診断・技術学」（2 単位増）と「地域母子保健」（1 単位増）の新カリキュラムを文科省に提出する	○
社会福祉学部 社会福祉学科	社会の要請に応え得る質と数の介護福祉士・社会福祉士を養成し輩出する。	介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の人材育成と輩出	1-① 入学時コース希望者を 15 名獲得する。	△
			1-② 子ども・家庭福祉領域進路希望者を増やす（各学年 5 名程度）	○
こども教育福祉学部 社会福祉学部 社会福祉学科	社会の要請に応え得る質と数の小学校教諭・幼稚園教諭・保育士を養成し輩出する。	小学校教諭・幼稚園教諭・保育士および国際バカロレア教員の人財育成と輩出	2-① 小学校教員採用試験に向けての対策講座を強化する。採用試験合格ラインに向けての学習・準備の仕方を身に付けることができるように指導・支援を行う。	◎
			2-② 実践力をつけるためのインターンシップを充実させる。そのための支援体制を整備する。	◎
			2-③ 各資格に合わせた教員体制の充実を図る—小学校、保育・幼児教育、国際バカロレアの教員採用に向けての募集・採用を行う（各 1 名）	◎
社会福祉学部	将来の教育分野の人財養成に適う、社会福祉学部の将来構想—「国際教育学部」を検討する。	「国際教育学部」設置に向けて検討を行う。	3-① 国際教育学部の教育内容・資格・カリキュラムについての大枠を作成するための調査・研究を行う。	○

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
リハビリテーション学部	国際リハビリテーションコースの着実な実施により、国際的活躍を指向するリハビリテーション専門職者と教員の養成を推進する 学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独自の教育を発展させる	国際リハビリテーションコースの発展	1-① 国際リハビリテーションコースの定員を確保する。(PT3名, OT2名, ST2名)	◎
			1-② 国際リハビリテーションコースの3年目のプログラムを適切に運用する。	○
		企業との連携体制の形成および連携強化(連携モデルの構築)	2-① 現在、連携している企業との連携に必要な学内整備を実施し、連携企業との関係を強化する。	○
看護学研究科	保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門的知識と技能を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する。	学部・学科・研究科の教育特徴の創出	1-① 複数教員における指導およびリサーチ・ルーブリック評価項目活用実施が定着した教育体制を構築する	○
			1-② 修了生の輩出・社会的要求を考慮した強化する領域を中心とした高度実践看護教育体制を整備する	△
		学内循環型の人材育成の推進	1-③ 研究科運営体制が整い、研究指導および審査が円滑かつ効果的に実施できる。	○
			1-④ 看護学部と連携し、本学在校生、卒業生の大学院進学促進に向けた取り組みを強化し学内循環型の人材育成の推進をはかる。	○
研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉の新たな知の創造を目指す。	卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築	2-① リカレント教育を開催し、卒業生及び修了生支援プログラムとしてキャリア教育の支援をする。 ・公開講座参加者の本学卒業生の大学院への進学を増やす(2名以上) ・看護職支援プログラム参加者を増やす(5名程度の開催を目指す)	○	
リハビリテーション科学研究科	保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門的知識と技能を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する。	博士前期・後期(5年間)一環コース設計と開設	1-① 博士前期・後期(5年間)一貫制博士コースの学修内容、学位取得プロセス、入試方法を決定し、広報を開始する。	○
			1-② 学部接続6年間修士コースの学修内容、学位取得プロセス、入試方法を決定し、広報を開始する。	○
	アジアを中心としたグローバルな保健医療福祉の研究・教育拠点を形成する。	国際共同研究・国際共同教育の実践	2-① 国際共同研究又は国際共同教育を1つ選定する	○
			2-② 国際共同研究又は国際共同教育内容をSIRC2022で公表する	○
	研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉の新たな知の創造を目指す。	研究成果の公表方法の検討・確立(出版会等)	3-① 2020年度に実施した公開講座「研究法」を副読本にして、公開講座(12月)に用いる	◎

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
社会福祉学 研究科	保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門職的知識と技術を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する	卒業生・専門職者・当事者団体等との連携と関係づくりを目的とした公開講座の実施	1-① 卒業生、実践現場の専門職に対し、連携の機会と場を継続させる。認定介護福祉士科目設置を視野に入れた大学院PRの場となっている。	◎
			1-② 社会福祉専門職団体と研究課題を共有して連携の場をつくる行動計画の事業が博士前期課程への志願者に結びついている。	△
		在住外国人の社会福祉に関する研究と実践	1-③ 在住外国人がかかえる生活課題に関する勉強会を開催する。在住外国人の社会的排除の状況をまとめ、関係者に発信する。	◎
		地域共生社会に向けた研究と実践、拠点形成	1-④ 「子どもの貧困問題」や「2025年問題」等をテーマに、地域共生社会の実現に向けた拠点となっている。	◎
教育	学生の自律学修を促し創造性を養うため、アクティブラーニングによる授業を推進し、ICTの活用や地域における実践活動による教育方法を開発する。	ICT活用やeポートフォリオ等の学修ツールの活用定着	1-① ICT、アクティブラーニング等教育成果の可視化	◎
	学位授与方針に適した保健医療福祉の専門職を輩出するため、適正な成績評価を実施する。	アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化による教育と人材養成の質保証（学問分野別の質保証）の体制の構築	2-① 科目レベルのアセスメントシステムの見直しを行う。（ティーチングポートフォリオ）	◎
	国際社会に貢献できる人材を育成するため、学生及び教員の英語教育と国際交流・活動を推進する。	国際保健医療福祉コース（副専攻）開設	3-① 国際社会に貢献できる人材養成をする副専攻となるように準備をする。	◎
学生支援	健やかで豊かな学生生活を実現するため、学生の心身の健康や生活及び経済的な支援を充実する。	学部を超えた学生交流の機会創出	1-① 学生対象の行事に参加する学生を増やす。	◎
	学修につまずきのある学生に対する全学的な支援体制を整備する。	学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実	1-② 支援が必要と思われる学生を学習支援室につなげる。	○
	健やかで豊かな学生生活を実現するため、学生の心身の健康や生活及び経済的な支援を充実する。	学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実	1-③ 学生の健康診断の2次検査（精密検査・再検査・治療）の受診率を回復する。 （2次検査の受診率85%目標） 〔2020年度：75.8%、2019年度：91.8%、 2018年度：89.8%、2017年度：85.7%〕	◎
			1-④ 学生に対するメンタルヘルス活動の見直しと新たな取り組みを行う。	○

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
FD	学生支援並びに教育に向けた教職員の資質向上を目指し、各種研修会の充実と教職員・学生の連携を促す。	FD委員会を主体とした、教職-学生共同による全学の学生支援・教育改善に向けた支援体制の構築	1-① 到達目標（学生の授業評価）に関する全学FD研修会を開催する。 数値目標：教員の90%以上の参加	◎
		授業評価、およびピアレビューによる着実な授業改善	1-② ピアレビュー100%実施を目指した体制や方法を構築する。 数値目標：ピアレビュー100%実施	◎
		学生FDスタッフの全学的な組織化、並びに教育改善活動への参画体制構築	1-③ 学生主体の全学的な学生FDスタッフ活動を進める体制を構築し、企画や調査を1回以上実施する。	○
国際化	グローバル化を発展させるため、本学の資源を活用して、アジアを中心とした国及び地域・機関等と共同事業や人材育成を発展させる。	グローバル化の発展に向けた教育環境の整備	1-① コロナ禍、交流協定締結校等との交流活動を維持する。	◎
			1-② 国際バカロレア教員養成プログラム（IBEC）を実施する。	◎
		優秀な外国人留学生受け入れ、留学生基金制度の運用と、協力施設との共同事業	1-③ 優秀な留学生の獲得に向けて受け入れ体制を提案する。	○
就職・キャリア支援	卒業生の母校への絆を育成するため、大学と卒業生及び同窓会の連携の強化を図る。	卒業生同士のネットワーク構築支援を通し、大学・卒業生・同窓会の絆を育成	1-① 卒業生へ大学院進学を推奨し、循環型人材育成に貢献するため、その基盤となる情報を整備する。	○
		学生の希望と適正にかなうキャリア教育と進路支援・指導の充実を図る。	2-① 卒業生満足度指数「進路について：希望する進路先に就職または進学することができた」を昨年度よりも向上させる。 2020年度：56.5 2019年度：66.0 2018年度：68.6	◎
		卒業生の母校への絆を育成するため、大学と卒業生及び同窓会の連携の強化を図る。	3-① 卒業生が大学から支援されているという実感が持てるよう、新たな施策を実行する。	◎
地域連携	地域の保健医療福祉の発展と地域振興に資する大学として、自治体や他大学等と連携共働の事業を推進する。	保健医療福祉・教育分野で浜松市との強固な協働関係の構築	1-① オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業を市内小学校（4校）と実施する。	◎
			1-② 浜松ウエルネス推進協議会に参画し、他団体との事業の共同実施に結び付ける。（1件）	◎
			1-③ 浜松市SDGs推進プラットフォームに参画し、他団体との活動の共同実施に結び付ける。（1件）	△
			1-④ 「浜松市との連携事業～大学生による講座」を年間6講座実施する。	◎

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
学生募集	入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。	学生募集活動の見直しと取り組み	1-① 入学者数の確保 看護学部 156 名、理学療法学科 45 名、作業療法学科 34 名、言語聴覚学科 28 名、社会福祉学科 66 名、こども教育福祉学科 45 名、助産学専攻科 17 名	△
	保健医療福祉の総合大学としての価値とブランド力の向上を図るため、情報と企画に基づく戦略的な広報活動を展開する。		1-② オープンキャンパス参加者数を増やす。 高校生：1052 人→ 1300 人 保護者等：367 人→ 700 人	◎
	入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。	高大連携校との強固な関係構築	2-① 重点校との関係を強化し、継続して出前授業、ガイダンス、高大連携プログラム等の接触の機会を得る。	▲
	こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。	こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動体制の構築	2-② クリストファー中・高等学校と連携した募集活動を検討、実施する。	○
入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。	入試制度改革の評価・見直し、2025 年度新課程入試への対応 アドミッションオフィサーの役割と業務の明確化、評価業務への参画	3-① 2021 年度入試の評価を行い、2022 年度以降の入試へ反映させる。	○	
学生募集 (看護学部)	入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。	学生募集活動の見直しと取り組み	4-① コロナ禍での接触者数減を改善し、接触者(対面/オンライン)・参加者の満足度をあげて志願者増につなげる。 WEB 上の動画本数を増やし、接触できない志願者へアプローチする。	○
			4-② 他大学にはない学部の特色を訴求し、増加する看護系大学と差別化をはかる。	○
学生募集 (リハビリテーション学部)	入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。 こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。	学生募集活動の見直しと取り組み	5-① 過去 3 年間の平均志願者数(実人数)を上回る志願者を得る(5%以上)。	△
			5-② 公開講座をオンラインで開催することで、学部および専門職の認知をより広い地域に広げる。	◎
学生募集 (社会福祉学部)	入学者受入方針 (AP) に適した入学目標者数を獲得する。 こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。	学生募集活動の見直しと取り組み	6-① 社会福祉学科の入学者を確保する(66 名)。	△
			6-② こども教育福祉学科の入学者を確保する(45 名)。	△

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
図書館	学生の自律学修を促し創造性を養うため、アクティブラーニングによる授業を推進し、ICTの活用や地域における実践活動による教育方法を開発する。	ICT活用やeポートフォリオ等の学修ツールの活用定着	1-① ラーニングコモンズの授業、グループ学習での利用を増やす。	○
			1-② 電子リソースのリモートアクセスの利用を増やす。	○
	学修につまずきのあ る学生に対する全学 的な支援体制を整備 する。	学生の支援体制（健 康管理・学修支援・ 経済支援）の充実 する。	2-① 図書フェアを年5回開催する。	◎
ICT	社会の技術革新に適 う人材育成に向けた、 ICT等の教育ツールの 活用と教育・学生支援 を充実する。	ICT活用レベルの高 度化	1-① ICT活用に役立つ資料を充実させて、専任教員の80%以上がWebClassを効率よく利用できるようにする。	◎
			1-② 学内の最新ICT環境について教員の理解を深め、新しい事例を紹介できるようにする。	○
	快適な学習環境の実 現と主体的な学修の 推進および学修力の 向上を促すため、教育 環境の点検と整備・充 実を図る。	ICT環境の高度化、 情報システムの統 合・集約（認証方法 の統一、情報の一元 化）	2-① 全学部パソコン必携化後も安定した接続を確保できるよう、教室でのWi-Fi接続におけるハードウェアに起因するトラブルをなくす。	△
			安心・安全な教育研究環境を提供するため、学内・職場の安全・衛生管理の推進、及び情報セキュリティの基本方針に沿った情報管理に努める。	リスクマネジメントの強化
		3-② 情報システム利用時の認証について、重要なシステムから二段階認証を教職員全員が設定し、セキュリティを強化する。	▲	
研究	研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉・教育の学術の発展に寄与する。	産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備	1-① 研究活動及び研究内容の充実・発展に向けて、研究専念日（時間）確保の仕組みを試作する。	△
			研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉・教育の学術の発展に寄与する。	産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備
			2-② 2021年に設定した変更・追加申請と、オプトアウトの使い勝手を向上させる。（2022年2月）	○

部門	短期目標	短期計画	到達目標	評価
基盤整備	業務の効率化・合理化とコスト管理を行い、資源の有効活用を促す。	働き方改革関連法施行に伴う教員の働き方改革の実質運用	1-① 2021年度から導入されるフレックスタイム制を運用する。	◎
	教育研究並びに諸活動の質の向上を促すため、公正かつ適切な教員評価を実施する。	教員評価制度の評価と改善	2-① 教員評価の評価軸を見直し、より合理的な評価方法を確立する。(9月)	△
	内部質保証システムを有効に機能させ、自律的に自己点検・評価と改善を図るとともに、適切に情報公開する。	教学 IR 委員会と自己点検・評価運営委員会との連携による教育改善	3-① 全学組織としての教学 IR 委員会を2回実施し、IR データを活用した教育改善につながる提言をする。	△
	学園の将来構想（グローバルスクール：国際教育学部、メディカルスクールの設置）に向けた大学改革を構想する	大学の将来構想の設計（国際教育学部の設置に向けた検討）	4-① 2025年度開設を目指して国際教育学部の将来構想を具体化し12月の企画調整会議にて協議する。	◎
	安心・安全な教育研究環境を提供するため、学内・職場の安全・衛生管理の推進、及び情報セキュリティの基本方針に沿った情報管理に努める。	ハラスメントのない大学環境を創出する	5-① ハラスメントのない大学環境を創出する。(客観指標：案件0)	△

中長期財務計画 学園全体【2020年度決算-2026年度】

◆事業活動収支計算書

(単位:千円)

主な事業計画(要因) 項目	小学校開校 (1.3.5学年)	小学校 全学年開校 4号館前農工事	グローバルスクール生 中学進学	国際教育 学部開設(予定)	新校舎建築	グローバルスクール生 高校進学	グローバルスクール生 (小1入学) 中学進学
	2020年度 決算	2021年度 決算	2022年度 中長期	2023年度 中長期	2024年度 中長期	2025年度 中長期	2026年度 中長期
1 学生生徒等納付金	2,713,748	2,855,963	2,890,513	2,972,278	3,036,321	3,121,696	3,247,959
2 事業活動収入 ①	3,964,353	4,151,186	3,990,534	4,091,540	4,146,086	4,254,336	4,415,832
3 人件費 ④	2,372,133	2,483,155	2,656,710	2,735,210	2,777,228	2,851,419	2,935,063
4 教育研究経費	840,863	889,002	966,571	986,771	1,013,795	1,082,097	1,059,347
5 管理経費	309,059	335,567	317,045	328,349	323,797	322,978	331,872
6 その他支出(借入金利息等)	48,037	23,671	20,529	26,210	26,109	24,099	21,741
7 事業活動支出②	3,570,092	3,731,395	3,960,856	4,076,539	4,140,928	4,280,593	4,348,024
8 事業活動収支差額③(①-②)	394,261	419,791	29,679	15,001	5,158	△ 26,257	67,808
9 事業活動収支差額比率③/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	9.9%	10.1%	0.7%	0.4%	0.1%	△ 0.6%	1.5%
10 人件費比率④/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	59.8%	59.8%	66.6%	66.9%	67.0%	67.0%	66.5%

◆資金収支計算書

12 資金収支 収入の部 ⑤	3,986,354	4,126,515	3,968,296	5,337,956	4,150,487	4,279,676	4,456,182
13 借入金返済、返済利息	176,963	36,500	159,129	164,810	164,709	205,749	203,191
14 施設設備費(固定資産)	169,999	227,162	112,253	121,037	34,779	70,274	79,556
15 新規事業(新校舎建築他)	40,779	72,000	623,400	733,500	1,051,000	557,000	445,000
16 資金収支 支出の部 ⑥	3,629,117	3,872,503	4,613,713	4,780,466	5,083,029	4,748,823	4,727,723
17 資金収支差額 ⑦ (⑤-⑥)	357,237	254,012	△ 645,417	557,490	△ 932,543	△ 469,147	△ 271,542
18 次年度繰越支払資金⑧	4,489,271	4,743,283	4,097,866	4,655,356	3,722,813	3,253,666	2,982,124

中長期財務計画においては、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。

財務計画は主な要点をベースとし、財務構造を人件費 60～65%、教育研究経費 20～25%、管理経費 5～7%、収支差額 3～7%を目安に策定しております。また、施設設備においても、大学1号館は建築 25 年以上、2・3 号館と中高校舎は 15 年以上となり、計画的に修繕を行う計画をしており、エアコン取替工事や校舎内蛍光灯のLED化を計画し、毎年実行しております。

2020 年度に小学校が開校しました。さらに、2022 年度には、小学校を卒業した児童が進学するコースとして、中学校にグローバルスクールコース制を導入致しました。これらの学校については、学年進行に伴い、収支は改善していく見込です。

事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その 60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2022 年度は建学の精神である生命の「尊厳と、隣人愛」の教育活動・行事等の充実した運営を行ないます。専門学校の特徴である「礼拝」や「はじめの会」、「終わりの会」を大切に学生による運営がスムーズに行えるように支援します。それらを通し自分で考え行動でき、かつ自由にしかし礼節を知る学生を涵養していきます。そのために教員全員が学生ひとりひとりを大切にし、質の高い教育実践を追及します。

2022 年度は 6 名の外国人留学生在が国家試験を受けることとなります。全員が国家試験に合格できるように国家試験対策を更に強化します。

2022 年度は以下の 4 項目に重点を置き学校運営を推進します。

- 1 入学者を確保するための学生募集活動
- 2 知識や技術の深い理解とともに、人間力と実践力を涵養する教育の徹底
 - (1) 満足度の高い授業展開を図る
 - (2) 学力評価試験と介護福祉士国家試験に全員が合格するよう教育・試験対策を強化
- 3 学生支援の充実
- 4 外国人留学生の受け入れ後の対応

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 2021 年度事業計画 評価

	2021 年度事業計画	評価 ◎：目標通りできた ○：概ね目標通りできた △：十分に達成できていない・次年度の課題である
1. 学生募集活動	<p>入学生を確保するための学生募集活動（2022 年度入学者目標数 40 名） 高校生、保護者の介護に関するイメージ向上を図るため、介護の魅力・やりがい・将来性・処遇改善・卒業生の活躍の様子などを専門学校入学案内、オープンキャンパス、高校内ガイダンスなどを通して継続して伝えていきます。5 月までにホームページのリニューアルを行い、高校生がより興味を持てるように、内容や構成を改善します。また、高校教員から生徒に本校を薦めてもらえるよう実績のある高校を中心に高校訪問を行い、高校教員との関係を強化します。外国人留学生についても継続して広報を行います。</p> <p>① オープンキャンパスの参加者を増やし、確実に出願・入学に繋げる。 ホームページのリニューアルにあわせて、オープンキャンパスページの充実を図り、参加者の増加を図ります。引き続き受験情報サイトも活用することで、接触者・反応者を増やし、出願まで繋がるようにサンクスレター、ダイレクトメールを定期的を送付します。</p>	<p>評価 △</p> <p>コロナウィルス感染症の影響もあり、オープンキャンパス等の募集行事を十分行うことができませんでした。5 月にはホームページのリニューアルを行い、これまで以上に見やすく、欲しい情報が得られるホームページとしました。行事への参加者に対しては出願・志願への結びつけは行えたものの、参加者の絶対数が伸びていないため、目標未達となりました。入学者目標数 40 名に対して、22 名が入学しました。</p>
	<p>② 重点校との関係作りを強化する 卒業生、在校生の出身校や介護福祉分野への希望者がいる高校（重点高校）との関係づくりを通して本学への志望者を育て、オープンキャンパス、入学へ結びつけます。重点校の見直しをしつつ教員との訪問を複数回行い、在校生の近況を伝えるニュースレターを持参するなど関係強化を図ります。</p>	<p>評価 ○</p> <p>高校訪問、校内ガイダンス等、教職員で連携・分担して対応しました。ニュースレターの代わりとして、1 年生からお世話になった高校（もしくは日本語学校）の先生に近況を伝えるお手紙を出して近況を伝えました。</p>
	<p>③ 奨学金支援法人と協力して広報を行う 奨学金の支援法人の協力を得て、随時見学会を実施します。コロナウィルス感染症の状況が落ち着いた場合は、中断していた「福祉のお仕事体験」を実施します。</p>	<p>評価 ○</p> <p>高校 1～3 年生を対象とする「福祉のお仕事体験」は今年度も感染症の影響で実施を見送りました。具体的に出願を考え、かつ奨学金に関心のある高校生については、奨学金法人への施設見学、役員面接を勧めました。これにより入学前に 6 名が奨学生として採用が決まっています。</p>

	<p style="text-align: center;">2021 年度事業計画</p>	<p style="text-align: center;">評価</p> <p>◎：目標通りできた ○：概ね目標通りできた △：十分に達成できていない・次年度の課題である</p>
	<p>④ 外国人留学生への広報を行う アジアからの外国人留学生を継続して受け入れるために、県内の日本語学校 4 校を中心に募集広報活動を展開します。聖隷福祉事業団、近隣社会福祉法人の施設見学会への参加を促し、入学に結びつけていきます。</p>	<p style="text-align: center;">評価 △</p> <p>これまで実績のある日本語学校への訪問を継続しましたが、コロナ禍で日本語学校の生徒さんの入国が遅れ、かつ学生数が減少していることもあり、志願者を十分に得ることができませんでした。最終的に昨年より 5 名少ない 2 名が入学しました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">2. 主体的な学び力を高め、自分で判断し行動できる、人間力と実践力を涵養する教育の徹底</p>	<p>(1) 主体的に学修できるような授業展開を図る</p> <p>① オンラインでも対面でも学生が主体的に学修（アクティブラーニング）できる授業を実施します。</p> <p>② 自ら調べ、考え、知識を得ていく楽しさを感じることができる授業を展開します。</p> <p>③ 教員の教育力向上のためにピアレビューを実施します。</p>	<p style="text-align: center;">評価 ◎</p> <p>オンラインでの授業を 1 年生も体験できるように春セメスタから、試験的に授業に取り入れ、その際にアクティブラーニングの授業展開も実施することができました。</p> <p>教員間で授業参観を行うことが日常に行われるようになり、1 月にピアレビューも実施もできました。</p>
	<p>(2) 個別化に特化した学習支援の充実</p> <p>① 誰もが、基礎を確実に理解できるように、確認の小テスト等を実施し、学生の理解力に応じた個別指導を徹底します。</p> <p>② 学習習慣が身につけていない学生に対しても、事前事後学修を促すに課題を出し、学びの楽しさを感じられるような授業展開を行います。</p> <p>③ 専任教員だけでなく、準教員を採用し、外国人留学生の学習支援を強化します。（1 年生は介護用語獲得のための補講の実施、2 年生は国試対策の支援）</p>	<p style="text-align: center;">評価 ○</p> <p>各教員が学生の現在の力を把握し、その学生が理解しやすいような授業展開を心掛けています。小テストや事前事後課題等を通じて学びを深めることができています。</p> <p>外国人留学生の学習支援のために準教員を採用する計画を立て、春セメスタは採用することができましたが、秋セメスタは採用ができず、専任教員で留学生支援を強化しましたが、準教員採用時程は効果的に実施することはできませんでした。来年度は 6 人の外国人留学生が国家試験を受験するために、さらなる学習支援の強化を図っていく必要があります。</p>

	2021 年度事業計画	評価 ◎：目標通りできた ○：概ね目標通りできた △：十分に達成できていない・次年度の課題である	
3. 学生支援の充実	<p>(1) 就職・キャリア支援</p> <p>① 奨学金支援法人との協力</p> <p>奨学金支援法人に対し、採用担当者や就職した卒業生から、当該法人の運営や介護福祉士の役割・働きなどの説明など、継続して就職支援行事等への協力を依頼し、学生が当該法人でのキャリアデザインを描き、就職先としてつながるよう支援していきます。</p>	<p>評価</p> <p>○</p>	<p>聖隷福祉事業団単独の説明会およびクリストファー介護福祉士奨学会加盟施設を中心とした施設説明会を実施し、人事担当者等の説明を通じ、法人・施設への理解を深めました。これらは学生の希望する施設への就職につながりました。</p> <p>奨学生の採用としては、2年次生で聖隷福祉事業団 5 名、クリストファー介護福祉士奨学会 2 名(2 法人)、1年次生で聖隷福祉事業団 14 名、クリストファー介護福祉士奨学会 4 名(3 法人)の計 25 名となりました。</p>
	<p>② 編入学</p> <p>福祉分野でより高い専門性と知識を実践するために大学へ編入することについて、具体的なイメージがもてるよう卒業生からの説明機会を継続して設けます。また、学園内推薦編入学制度について十分に説明を行うことで積極的に制度の利用を促し、学生が学修を学園内で継続できるよう支援していきます。</p>	<p>評価</p> <p>◎</p>	<p>1年次生は「卒業生と在学生との懇談会」で実際に編入した卒業生からの話を聞き、うち 4 名(前年度 6 名)が学園内推薦編入学説明会に参加しました。また、2年次生はエントリーした 3 名全員が出願許可を得ました。2年次の 4 月に出願許可を得られるスケジュールであることから、より安心して学修を継続できる環境を整えられています。</p>
	<p>③ 卒業生支援</p> <p>「新しい生活様式」のなかで、オンラインを活用することで、ホームカミングデーや教員が行っている勉強会など、卒業生同士の情報交換のほか在学生との交流等を継続して行います。また、これらの案内を情報発信ツール(広報誌クリストファー、WEB キャリア支援センター、ホームページ等)を使って積極的に案内し、卒業生の接触機会を維持します。</p>	<p>評価</p> <p>◎</p>	<p>ホームカミングデーには 3 名が来校し、旧交を温めました。また、就職支援プログラムの「卒業生と在学生との懇談会」では 4 名の卒業生が来校し、在校生に進路決定までのプロセス等を語ってくれたほか、進路に関する質問・疑問にも対応してくれました。</p>

	2021 年度事業計画	評価 ◎：目標通りできた ○：概ね目標通りできた △：十分に達成できていない・次年度の課題である	
3. 学生支援の充実	<p>(2) 学生生活 ～学生満足度が高く、帰属意識を涵養するような学生支援を行う～</p> <p>① 日本人と外国人の学生が共にお互いの文化や習慣等を学びあう機会を、授業内やアドバイザー懇談等に設けます。</p>	<p>評価 ◎</p>	<p>年度初めの4月・5月に集中して実施することにより国籍や文化を超えて学生たちの学ぶ環境が構築できました。</p>
	<p>② 準教員や学生ピアサポーターによる留学生の介護用語の勉強会を実施し、留学生の日本語力の向上と日本人学生のリーダーシップの涵養を目指します。</p>	<p>評価 ◎</p>	<p>秋セメスターに準教員の採用がかなわなかったが、学生同士の学びあい定着し、日本人学生だけでなく外国人留学生もリーダーシップを取る場面が多くみられました。</p>
	<p>③ 建学の精神「生命の尊厳と隣人愛」を具現化した、学生支援を深め、だれもがその人らしい学生生活を送れるように支援します。</p>	<p>評価 ◎</p>	<p>国籍や文化等違う学生たちがお互いを認め合いながら、互いに支え合い、学び合う事の出来る学生絵死活を送ることができています</p>
	<p>④ 多様な視点を持って、人間力の涵養を図るために行われる、新入生歓迎会、クリスマス祝会、2年生を送る会等の本学独自の行事をコロナ禍においても工夫しながら実施を目指します。</p>	<p>評価 ◎</p>	<p>コロナ禍の中、一堂に集まって飲食を共にする会は実施しませんでした。学生たちが考え工夫を凝らして新入生歓迎会を実施し、クリスマス祝会はお世話になった方々へ手作りのクリスマスカードを作成しお渡しすることができました。</p>

2021 年度事業計画		評価
		◎：目標通りできた ○：概ね目標通りできた △：十分に達成できていない・次年度の課題である
4. 留学生の受け入れ後の対応	留学生の入国管理、公的機関に関する手続き、資格外労働の管理、日本語支援等、生活全般にわたるサポートを行います。留学生が安心して生活し、学業に専念できる環境を作り、自立して日本での生活ができるよう、支援します。	評価 ◎
		外国人留学生の在留資格更新手続きの準備と支援、在籍状況やアルバイト時間数などについて、適正な管理を行いました。 コロナ禍、対面（集合）での活動が制限される中、少し落ち着いた7月に国際交流イベント「夏祭り」を開催し、外国人留学生に日本の文化に触れ、日本人学生と外国人留学生が交流する機会を設けました。 外国人留学生の退学の際、出入国在留管理庁と連動して、在留資格の変更手続きを適切に行いました。 外国人留学生に対して授業後に教員が日本語支援を行っています。

◆ 学生募集の推移

	入学定員	2022 年度入学		2021 年度入学		2020 年度入学		
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
大学院	看護学研究科	15	5	5	11	11	11	10
	博士前期課程	10	4	4	7	7	6	5
	博士後期課程	5	1	1	4	4	5	5
	社会福祉学研究科	13	2	1	5	3	10	5
	博士前期課程	10	2	1	3	2	3	2
	博士後期課程	3	0	0	2	1	7	3
	リハビリテーション科学研究科	20	7	7	13	13	17	15
	博士前期課程	15	5	5	10	10	12	10
	博士後期課程	5	2	2	3	3	5	5
大学院合計	48	14	13	29	27	38	30	
大学	看護学部	150	616	160	711	158	696	158
	看護学科	150	616	160	711	158	696	158
	助産学専攻科	15	48	17	37	17	40	17
	社会福祉学部	120	231	90	208	85	257	101
	社会福祉学科	65	128	52	111	48	130	52
	編入学	15	4	4	5	5	5	5
	こども教育福祉学科	40	99	34	92	32	122	44
	リハビリテーション学部	95	448	106	484	110	610	108
	理学療法学科	40	236	43	261	53	321	46
	作業療法学科	30	123	38	121	28	183	34
	言語聴覚学科	25	89	25	102	29	106	28
	大学合計	380	1,343	373	1,440	370	1,603	384
	総合計	428	1,357	386	1,469	397	1,641	414

	入学定員	2022年度入学		2021年度入学		2020年度入学	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校	40	22	22	29	28	20	19

◆ 国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（全国大学新卒者）

資格名	所属	2021年度		2020年度		2019年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	97.5%	99.4%	97.4%	98.7%	96.6%	97.4%
保健師	大学	94.2%	100%	97.4%	96.7%	96.3%	96.6%
助産師	専攻科	99.6%	100%	99.7%	100.0%	99.5%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（全国大学新卒者）

資格名	2021年度		2020年度		2019年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	52.4%	50.9%	50.7%	54.0%	56.0%	49.2%
精神保健福祉士	73.3%	94.7%	71.4%	85.7%	74.0%	84.2%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（全国大学新卒者）

資格名	2021年度		2020年度		2019年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	90.9%	95.7%	89.6%	100.0%	96.1%	100.0%
作業療法士	91.7%	88.2%	90.6%	90.6%	96.2%	90.6%
言語聴覚士	89.7%	89.3%	86.5%	88.5%	84.3%	78.6%

介護福祉士国家試験の合格率（養成施設新卒者）

資格名	2021年度			2020年度			2019年度		
	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校
介護福祉士	65.3%	100.0%	88.9%	72.9%	100.0%	95.8%	80.0%	100.0%	88.2%

◆ 卒業生・修了生の進路状況（大学）

2021年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

（単位：人）

卒業生数	169	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数（*1）	154	看護師	146	122	24
		保健師	6	5	1
		養護教諭	2	2	0
進学者数	13				
その他（*2）	2				

- (*1) 聖隷三方原病院…32名、聖隷浜松病院…33名、浜松市リハビリテーション病院…7名、
 聖隷横浜病院…6名、袋井市立聖隷袋井市民病院…1名、
 訪問看護ステーション細江…1名、聖隷保健事業部…2名 合計 82名 (就職者の 53.2%)
 (*2) 「その他」は就職しない者 2名です。

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	17	助産師	17	10	7

- (*1) 聖隷三方原病院…1名、聖隷浜松病院…7名、聖隷沼津病院…1名
 合計 9名 (就職者の 52.9%)

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	46 (社 41/介 5)	内訳		静岡県内	静岡県外
			社/介	社/介	社/介
就職者数(*1)	44 (社 39/介 5)	福祉施設	25/ 5	22/ 5	3/ 0
		医療機関	10/ 0	10/ 0	0/ 0
		公務員	3/ 0	3/ 0	0/ 0
		その他	1/ 0	1/ 0	0/ 0
その他(*2)	2 (社 2/介 0)				

- (*1) 聖隷福祉事業団…12名 (就職者の 27.3%)

- (*2) 「その他」は就職しない者 2名です。

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	21	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	19	公立幼稚園・保育園	2	2	0
		私立幼稚園	0	0	0
		こども園	5	5	0
		民間保育園	3	3	0
		社会福祉施設	8	7	1
		公務員	1	1	0
		一般企業	0	0	0

- (*1) 聖隷福祉事業団…4名 (就職者の 21.1%)

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	109	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	100	理学療法士	45	30	15
		作業療法士	30	21	9
		言語聴覚士	25	16	9
進学者数	0				
その他(*2)	9				

- (*1) 聖隷福祉事業団…11名 (就職者の 11.0%)

- (*2) 「その他」は、就職しない者 9名です。

◆ 就職支援（大学）

2021年度 主な就職支援プログラム			
4月	春semester進路ガイダンス 【看】保健師ガイダンス 【介】介護福祉士国試対策講座	10月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座 ※eラーニング（国試前日まで）
5月	【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT】進路ガイダンス	11月	【看】4年次生による就職活動報告会 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【社・介・こ】4年次生による就職活動報告会 【こ】卒業生と在学生との懇談会
6月	【OT・ST】進路ガイダンス	12月	【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【介】介護福祉士国試対策講座 【こ】4年次生による就職活動報告会
7月	【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座	1月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座（中止） 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】4年次生による就職活動報告会 【PT・OT】就職先研究（聖隷福祉事業団）
8月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係） 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	2月	卒業時ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】卒業生と在学生との懇談会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座 【ST】就職先研究（聖隷福祉事業団）
9月	秋semester進路ガイダンス 公務員試験対策講座 【看】保健師ガイダンス 【看】保健師国試対策講座	3月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】就職マナー講座 【看】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 【社・介・こ】施設説明会（3年次対象） 【ST】4年次生による就職活動・国試報告会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

◆ 卒業生の進路状況（専門学校）

2021年度 卒業生の進路状況

（単位：人）

卒業生数	18	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数（*1）	15	介護福祉士	13	12	1
進学者数	3	介護職	2	2	0

（*1） 聖隷福祉事業団…5名（就職者の33.3%）

◆ 就職支援（専門学校）

2021年度 主な就職支援プログラム			
4月	進路ガイダンス 介護福祉士国試対策講座	10月	
5月	介護福祉士国試対策講座 社会人になるための基礎講座 就活マナー講座	11月	
6月	スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	12月	介護福祉士国試対策講座 2年次生による就職活動報告会 卒業生と在学生との懇談会 履歴書の書き方・面接の受け方講座
7月		1月	介護福祉士国試対策講座
8月		2月	就職内定後の心構え・社会人としての心構え講座 卒業時ガイダンス
9月	進路ガイダンス	3月	聖隷福祉事業団採用試験説明会 進路ガイダンス

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆ 2021年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構			K.M.奨学金	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	浜松市奨学金	静岡県看護職員修学資金	静岡県看護協会修学貸与金	合計	
				合計	一種	二種								給付	貸与人数
1年次生	0		20	74	27	31	16	0		0	0	4	1	99	63.5%
2年次生	0	0	31	74	25	32	17	0		0	1	2	0	108	70.6%
3年次生	0	0	42	69	31	19	19	1	0	0	0	0	0	112	70.9%
4年次生	1	1	69	65	27	23	15	0	2	1	0	1	0	140	82.8%
合計	1	1	162	282	110	105	67	1	2	1	0	2	6	459	72.2%

○助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	静岡県看護協会	合計	
			合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1年次生	0	7	4	3	1	0	0	11	64.7%

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士	静岡県保育士	K.M.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷健康福祉財団	合計	
				合計	一種	二種	給付							貸与人数	受給割合
1年次生	0		0	45	15	17	13	5	7			0	0	57	72.2%
2年次生	1	0	0	46	15	24	7	4	3	0		1	0	55	57.9%
3年次生	0	1	0	27	12	9	6	4	0	0	1	0	0	33	35.5%
4年次生	1	0	2	32	14	13	5	0	3	2	0	0	0	40	58.8%
合計	2	1	2	150	56	63	31	13	13	2	1	1	0	185	55.2%

○リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷健康福祉財団	合計	
				合計	一種	二種	給付				貸与人数	受給割合
1年次生	0		3	39	17	17	5	0	0	0	42	38.2%
2年次生	0	0	1	65	25	28	12	0	0	1	67	62.0%
3年次生	1	0	0	71	30	27	14	1	1	1	75	60.5%
4年次生	0	1	2	63	30	15	18	0	0	1	67	61.5%
合計	1	1	6	238	102	87	49	1	1	3	251	55.7%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			看護学研究科 生支援奨学金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	2	2	0	-	2	10.5%
2年次生	2	1	1	3	5	20.0%
合計	4	3	1	3	7	15.9%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			看護学研究科 生支援奨学金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	1	1	0	-	1	12.5%
2年次生	0	0	0	0	0	0%
3年次生	0	0	0	0	0	0%
合計	1	1	0	0	1	2.1%

○介護福祉専門学校

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士 修学資金	聖隷福祉事業団 奨学金	クリスター 介護福祉士 奨学金	天竜厚生会 介護福祉士 奨学金	合計	
		合計	一種	二種	給付					貸与人数	受給割合
1年次生	0	2	0	1	1	6	14	4	0	26	96.3%
2年次生	0	2	0	1	1	6	6	2	1	17	94.4%
合計	0	4	0	2	2	12	20	6	1	43	95.6%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2022年3月時点データ ※聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆グローバル教育推進

2021年度の本学の交流協定校は、陸軍軍医大学（中国・旧第三軍医大学）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、サミュエルメリット大学（アメリカ）、シンガポール工科大学、イーデス・コーワン大学（オーストラリア）、シアトルパシフィック大学（アメリカ）、モンタナ大学（アメリカ）、ハワイ大学マノア校（アメリカ）、中山大學（中国）、マリアノ・マルコス州立大学（フィリピン）の10校です。

2021年度は、学生主体の国際交流として以下の派遣・受入れプログラム等を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、渡航を伴うプログラムは全面的に中止とし、一部のプログラムをオンライン・バーチャルで実施しました。

2022年3月3日・4日には本学大学院主催の聖隷国際研究コンファレンス2022（SIRC2022）を開催し、海外・国内からオンラインを含め約110名の参加がありました。本コンファレンスは4度目となります。

また、中山大学との学術交流の一環としてオンライン合同セミナーを全3回開催し、本学教員・大学院生・学部生を含め延べ170名が受講しました。

【学生派遣】

	プログラム	期間	対象	受入機関・内容	参加学生
国際専門研修	シアトルパシフィック大学とのバーチャル交流	1日	社会福祉学部 こども教育福祉学科 3年次生	シアトルパシフィック大学 グループディスカッション	こども3年30名 計30名
	シンガポール工科大学とのオンライン研修	1日	国際リハビリテーションコース 1~3年次生	シンガポール工科大学 講義、学生とのディスカッション	国際リハコース 1年5名 2年6名 3年4名 計15名
	アメリカ・サミュエルメリット大学とのバーチャル交流2022	4日間	看護学部 1~4年次生	サミュエルメリット大学 講義、学生とのディスカッション	看護1年4名 看護2年4名 看護3年2名 専攻科1名 計11名
国際実習	2021年度国際リハビリテーション実習	8日間	国際リハビリテーションコース 3年次生	イーデス・コーワン大学 講義、施設見学、バーチャルクリニック、学生交流等	国際リハコース 3年6名 計6名

【学生受入れ】

	プログラム	期間	対象	研修内容等	参加学生
研修	シアトルパシフィック大学とのバーチャル交流	1日	SPU教育学部 4年次生	グループディスカッション	計20名
	シンガポール工科大学とのオンライン研修	1日	シンガポール工科大学ヘルス&ソーシャルサイエンス学部学生	講義、学生とのディスカッション	計20名
	アメリカ・サミュエルメリット大学とのバーチャル交流2022	4日間	サミュエルメリット大学 学生	講義、学生とのディスカッション	計9名

【その他】

プログラム	期間	対象	研修内容等	参加学生
交流協定校との交流 交換授業	2日間	リハビリテーション学部 理学療法学科 2年次生 マリアノ・マルコス州立大学(MMSU) 理学療法学科 3年次生	教員が相互の学生に講義を行う	PT2年 46名 MMSU 58名 計 104名
イベント	2021年度第1回国際交流イベント「夏祭り」	留学生 本学学生 国際支援アクティブラーニングI履修生	日本人学生と留学生在が夏祭りを通して交流し、異文化について理解を深める	留学生 6名 学部生 18名 国際支援アクティブラーニングI履修生 29名 計 43名
	2021年度第2回国際交流イベント「クリスマス交流会」	本学学部生 マリアノ・マルコス州立大学(MMSU)学部生	オンラインによるクリスマスパーティーを開催し、学生間の交流を推進、異文化への関心を深める	本学 13名 MMSU 13名 計 26名
その他	2日間	国際リハビリテーションコース 2年次生	英語集中講座	2年次生 7名 計 7名

聖隷クリストファー中・高等学校

1. 2021年度の重点目標の振り返り（中学・高校共通）

重点目標1 基礎学力の定着を図り、生徒が主体的に取り組む態度を育成する

○2022年度からの、高校1年新学習指導要領のスタートに向けて、シラバスの書式を一新させました。

○生徒の学力向上を図るには、まず教員集団の資質の向上を。そのため本校に欠けているのは教員の研修である。との反省を基に、研修・探究委員会がリーダーシップを発揮し、教員研修の充実を図りました。

軸の一つは、タグライン作成プロジェクトです。研修委員会メンバーによる予備研修をもとに、夏季と年末に全教員が集まり、意見を出し合い、本校が目指し世に発信するところを「誰かの幸せを、自分の喜びに」というタグラインにまとめました。50余名の教員がグループに分かれ、普段なかなかできない意見交換の時間を持ち、気持ちを共有する時を持つことができました。

授業の向上を目指しては、「全教員参加授業研究」が定例化し、次年度は「全員1回公開授業」の実施を目指します。

その他の研修：教育コンテンツ「Find!アクティブラーナー」の視聴研修。探究活動実践の推進

○タブレットを生徒全員が持つ計画については、半導体不足等により機器の調達が遅れました。一方、全教室にプロジェクターが設置され、授業での利用が格段に広がりました。授業の質的変化の兆しを感じられます。ICTを駆使する授業の研究・研修が、今後一層の課題となります。

重点目標2 安心・安全な充実した学校生活を通して、様々な活動に主体的に取り組む態度を育成する

○教育相談体制を充実させ生徒をより深く理解し、個に応じた指導や支援をきめ細かく行える様務めました。具体的には、生徒相談室の活用が増加し、生徒の満足度も高まりました。養護教諭による3分間カウンセリングは対象生徒を広げ、中学生全員と高校1、2年生となり、生徒の悩みや諸課題が早期に、幅広く掘り起こせる様になりました。

○新型コロナウイルス感染予防対策

コロナ下の学校生活も丸2年が経ちました。毎日の健康観察票(担任が毎朝チェック)や昼食時の見回り、行事ごとの消毒や来校者参加表など、基本の予防対策は改革・工夫が進み、全校に予防意識が浸透しています。一方、慎重を期しながらも、配信を利用した全校プログラムや、実際に足を運んで体験していただくオープンスクールなど、可能なことには挑戦する姿勢を心掛けています。

1) 高等学校生徒募集の推移

(単位：人)

	入学定員	2022年度入学者 (2021年度募集)		2021年度入学者 (2020年度募集)		2020年度入学者 (2019年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,173	360	1,178	386	1,098	317

※中学校からの内進生を含みます。

2) 卒業生の進路状況

(単位：人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	その他	合計
男子	83	0	25	1	3	0	1	113
女子	89	5	43	2	18	0	3	160
合計	172	5	68	3	21	0	4	273
比率	63.0%	1.8%	24.9%	1.1%	7.7%	0.0%	1.5%	100.0%

※その他(男子)は、国立文楽劇場第31期研修生

3) 大学合格実績

《国公立大学 26名》

広島大(文)1名、横浜国立大(理工)1名、徳島大(薬)1名、京都府立大(生命環境)1名、静岡大(工)1名、静岡県立大(薬1、国際関係1、食品栄養科学1)3名、静岡文化芸術大(文化政策)4名、九州工業大(情報)1名、宇都宮大(工)1名、福井大(教育)1名、鳥取大(工)1名、岩手大(農)1名、都留文科大(文)1名、北見工業大(工)1名、山梨県立大(国際政策)1名、釧路公立大(経済)1名、茨城県立医療大(保健医療)1名、公立鳥取環境大(経営)1名、福山市立大(都市経営)1名、下関市立大(経済)1名、大分県立看護科学大(看護)1名

《私立大学 343名》

聖隷クリストファー大学 47名(看護 21、理学療法 6、作業療法 6、言語聴覚 4、社会福祉 4、子供教育福祉 6、うち入学者 37名)、国際基督教大(教養)1名、東京理科大(理工)2名、明治大(理工)2名、青山学院大(文)1名、中央大(理工)1名、法政大 4名(文 1、法 1、社会 2)、関西大 3名(政策創造 1、経済 1、人間健康 1)、関西学院大 4名(人間福祉 2、総合政策 1、経済 1)、立命館 3名(理工 2、情報理工 1)、明治学院大 2名(社会 1、法 1)、獨協大(経済)1名、日本大(生産工学)名 1、東洋大(文)2名、専修大(法)1名、近畿大 5名(国際 2、経営 3)、京都産業大(法)2名、龍谷大 3名(国際 2、農 1)、愛知大 12名(文 6、経済 1、経営 5)、中京大 8名(工 4、心理 1、国際 1、経済 1、経営 1)、名城大 11名(経済 2、経営 2、理工 1、情報工学 3、農 1、薬 2)、愛知淑徳大(創造表現)5名、大東文化大(経営)1名、東海大(政治経済)1名、帝京大(理工)1名、神奈川大 3名(経済 2、人間科学 1)、武蔵野大 2名(経済 1、経営 1)、武蔵大 2名(人文 1、経済 1)、愛知学院大 20名(文 9、心身科学 1、心理 1、法 2、経済 1、歯 5、薬 1)、関西外国語大 3名(外国語 2、英語キャリア 1)、関東学院大 8名(国際文化 1、法 3、経済 1、経営 2、看護 1)、常葉大 60名(外国語 21、経営 19、教育 7、理学 4、作業 2 他)、中京学院大(看護)1名、鈴鹿医療科学大 5名(薬 2、管理栄養 2、臨床検査 1)、豊橋創造大 3名(看護 1、理学 2)、日本福祉大学 7名(社福/子ども 2、リハ/介護 4) 他

4) 就職実績

《就職内定者 21名》

陸上自衛隊(自衛官候補生)1名、航空自衛隊(自衛官候補生)1名、デンソー1名、スズキ1名、A.I.S 2名、袋井市立聖隷市民病院1名、西山病院1名、十全記念病院1名、精神科・神経科浜北病院1名、ハイレックスコーポレーション1名、他

5) 国際交流(高等学校)

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム (3か月)	アメリカへ1名	
本校から私費留学	なし	なし
県教委主催海外体験促進事業 (語学研修)	なし	
受入れ留学生	なし	2021年11月～2022年3月 ラオスから1名 2021年4月～現在 中国から1名

6) 部活動の主な実績

部活動名	2021年度 主な実績
男子 バレーボール部	静岡県高等学校総合体育大会 バレーボール競技 西部地区予選大会 準優勝 静岡県高等学校総合体育大会 バレーボール競技 静岡県大会 3位 第 68 回東海高等学校総合体育大会 バレーボール競技 ベスト 8 第 74 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会 3位 静岡県西部高等学校バレーボール選手権大会 優勝
男子 サッカー部	第 100 回全国高校サッカー選手権静岡予選決勝トーナメント進出 ベスト 4

部活動名	2021年度 主な実績
野 球 部	第 103 回全国高等学校野球選手権 静岡大会 ベスト 16 第 74 回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会 準優勝 第 74 回秋季東海地区高等学校野球大会 準優勝
女子 ソフトボール部	静岡県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技(県大会) ベスト 16 第 25 回静岡県高等学校女子ソフトボール選手権大会 準優勝 静岡県高等学校女子新人ソフトボール大会 県大会ベスト 8
少林寺拳法部	静岡県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 県大会 男子団体演武 優勝、男子自由組演武 優勝、女子自由組演武 優勝 全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会 男子組演武 11 位、女子組演武 13 位、男子団体演武 出場 静岡県高等学校新人体育大会 少林寺拳法競技 男子総合優勝 男子規定単独演武 2 位、自由単独演武 2 位、規定組演武 優勝、 自由組演武 2 位、団体演武 優勝 女子自由単独演武 2 位、規定組演武優勝 第 25 回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 男子自由組演武 8 位、女子規定組演武 10 位
吹奏楽部	第 64 回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会 B編成の部 金賞 第 62 回静岡県高等学校吹奏楽コンクール西部地区大会 高等学校B編成の部 銀賞 第 62 回静岡県中学校吹奏楽コンクール西部地区大会 C編成の部 最優秀賞 第 62 回静岡県中学校吹奏楽コンクール静岡県大会 C編成の部 優秀賞 第 55 回静岡県高等学校管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会 管楽 3 重奏 金賞 第 55 回静岡県中学校管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会 混成 4 重奏 銀賞 第 23 回中部日本個人・重奏コンテスト静岡県大会 高等学校個人の部 クラリネット独奏 銀賞 中学個人の部 アルトサクソフォン独奏 銀賞 中学個人の部 ユーフォニアム独奏 銀賞
放 送 部	第 42 回静岡県高等学校放送新人コンクール アナウンス部門 第 3 位 ビデオメッセージ部門『鄙の自転車屋』第 3 位 第 68 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会 <ラジオドキュメント部門> いつもそこにはラジオ <テレビドキュメント部門> 海を漕ぐ <創作ドラマ・テレビ部門> 花持ち晴れ。

聖隷クリストファー中学校

1) 中学校生徒募集の推移

	入学定員	2022年度入学者 (2021年度募集)		2021年度入学者 (2020年度募集)		2020年度入学者 (2019年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	41	38	58	43	38	22

※2022年度入学者については、同年度開設のグローバルスクールコース志願者及び入学生を含みます。

2) 国際交流(中学校)

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	なし	なし
受入れ留学生	なし	なし

2. 2022年度の目標と展望(中学・高校共通)

全 8 項目の取組目標を掲げ、それらについて、達成方法(取組の具体的手段)を明記し、成果目標を数学で表し、目に見えて実感できる成果を目指します。

重点取組目標1 教職員の資質能力及び組織力の向上を図ります

	達成方法(取組手段)	成果目標
①	校内外の研修を積極的に企画し・参加することで、主体的で向上心ある教員組織づくりを目指し、教員の資質の向上を図ります。	タグライン「誰かの幸せを、自分の喜びに」の実現のため、意識して取り組んだ教員 100%を目指す。
②	②新学習指導要領の改訂ポイントを押さえ、教育課程の改善点等について各教科で検討します。	新しい学習指導要領に対応した 指導法、観点別評価に取り組み、観点別評価を理解する教員 100%を目指す。
③	生徒の学力向上に向け、教職員が積極・意欲的に、授業の改善等 に取り組めます。	各教科全員1回の授業参公開を実施する。また、他教科の授業を1回以上参観する。
④	教職員の多忙化の解消を図り、意欲を持って生徒に向き合う時間を確保します。	各学年・分掌で業務改善に関する取組を1件以上実行する。「取り組むことができた」と答える教員 60%以上を目指す。

重点取組目標2 基礎学力の定着を図るとともに、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成します

	達成方法(取組手段)	成果目標
①	ICT機器等を活用した新たな学習指導法やICT機器等の活用法についての研究と実践。アクティブラーニング型授業の研究と実践。	「興味・関心や意欲を高める授業が行われている」と答える生徒80%以上 「授業の内容がよく分かる」と答える生徒 80%以上を目指す。

②	課題について、量と質、内容とレベル、提供の仕方の視点から 精査・見直しを行います。	「学力が向上する課題が行われている」と答える生徒が 90%以上となることを目指す。
③	テストについて、目的、内容、実施時期・回数、教育的効果、教職員の負担等の視点から、精選・見直しを行います。テストを 生徒の学力の測定ツールとして機能させ、指導の検証・振り返り・改善に結び付けることができるものにします。	測定ツールで把握した学力に相応する授業改善に取り組む教員 90%以上を目指す。
④	予備校等が主催する研修会等への参加を積極的に行います。	予備校等の研修会等に積極的・意欲的に参加した教職員が 10 人以上を目指す。
⑤	読書活動を充実させ、読書を通じて活字に親しむ習慣を確立させます。	図書館利用者数及び年間貸出数を増加させる。不読者をゼロにする。

重点取組目標3 安心・安全な充実した学校生活を通して、様々な活動に主体的に取り組む態度を育成します

	達成方法(取組手段)	成果目標
①	新型コロナウイルス感染症対策の注意喚起を怠ることなく行います。	「健康、安全の確保に関する指導が適切に行われている」と答える生徒が 90%以上、教職員 100%を目指す。
②	定期的な情報共有の場として、常勤のスクールカウンセラーを十分に活用します。 新入生面談を定着化し、性格検査を行います。	困りごとの早期発見と情報共有をし、生徒個々が心の安定と安心感のある学校生活を送れるよう環境改善をする教員 100%を目指す。
③	生徒カルテにより生徒情報の共有を図り、全教職員が連携した指導・支援を行います。	支援対象生徒のカルテを整備し、生徒の状況、支援方針や支援計画等の情報を共有する教員 100%を目指す。
④	担任が生徒の状況を把握し、学習支援員とも共有し、保護者面談やカウンセラーへつなぎます。	保健室登校、別室登校、不登校の生徒への対応をしっかりと行い、転退学をさせない指導をする教員 100%を目指す。
⑤	アンケートによって、体罰及びいじめについて調査・確認を確実に行います。	体罰及びいじめは、いずれも“ゼロ”。

聖隷クリストファー小学校

1. 児童募集の推移

	入学定員*	2022 年度入学者 (2021 年度募集)		2021 年度入学者 (2020 年度募集)		2020 年度入学者 (2019 年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
小学校	120	52	45	96	86	102	92

※2019 年度、2020 年度募集は 1 年生 60 人、3 年生 30 人、5 年生 30 人を募集

※2021 年度募集は 1 年生 60 人を募集

2. 教育の特色

本校の学びの根幹には、「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」というキリスト教の教えである「隣人愛」の精神があります。変化の激しい時代だからこそ、どんな時代になっても決して変わる事のない大切なことを土台として、すべての学びを展開しています。

◆英語イマージョン教育 English Immersion Education

本校の英語イマージョン教育は、母語である日本語力を大切にします。英語での授業は、多国籍の外国人による多様な見方に触れながら探究的に展開されます。2つの言語を知り、違う視点を持つことで、世界を、日本を、自分を深く知ることができます。もちろん、ツールとしての英語を身につけて、世界のどこにいても、自分で考え、表現できる力も養っていきます。児童は、外国人教員から英語で学ぶという環境で、日常会話レベルの英語から、学習英語レベルへと自然に英語力を身につけていきます。

◆探究型学習 Inquiry-based Learning

児童自らが課題を発見・設定し、その解決に向けて情報を収集・整理・分析し、友人や先生との意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動です。探究型の学習では、児童の思考力や判断力、表現力などの育成を目的としており、教科書の知識を詰め込む学習ではなく、体験活動を中心にすえ、主体的に学び問題を解決することで、次の学習に役立つ本当に理解された知識を積み重ねていきます。

◆教科横断的学習 Transdisciplinary Learning

世界には、ひとつの教科では扱いきれない問いがあふれています。教科横断的学習では、そうした課題を多面的な視野から見つめ、各教科の枠を超えて知識や考え方に関連を持たせながら、全面的な理解をめざします。

◆概念的学習 Conceptual Learning

概念を獲得する学びは、探究型学習や教科横断的学習のひとつ上の階層のイメージです。様々な学習体験を通して得た新しい発見や知識を、誰もが共有できる概念、言葉として表現する力を育てていきます。「正方形とはこういうものだ」「幸せとはこういうものだ」。新たな概念にたどり着くためには、自ら考え主体的に行動する資質・能力が欠かせません。

3. 国際バカロレア初等教育プログラム

International Baccalaureate Primary Years Programme

2022年1月、本校とこども園はIB PYPの候補校として認定されました。

2024年3月のIBワールドスクール認定、および本校とこども園独自の「聖隷IBモデル」の実現を目指します。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 1日(木)	保育開始
7日(水)	1学期始園日
10日(土)	入園式(46名入園)
14日(水)	イースター礼拝
24日(土)	保護者会総会、子育て講演会、クラス懇談会
26日(月)	視力検査(5歳児)
27日(火)	
5月 12日(水)	母の日礼拝
15日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)
20日(木)	健康診断①
24日(月)	オープン保育デー①(5歳児)
25日(火)	視力検査(4歳児)
26日(水)	
27日(木)	オープン保育デー②③(5歳児)
28日(金)	
6月 1日(火)	オープン保育デー(4歳児)、浜松市移動環境教室(5歳児)
2日(水)	オープン保育デー(4歳児)
4日(金)	尿検査(4.5歳児)
9日(水)	花の日礼拝
10日(木)	花の日訪問
15日(火)	プール開き
22日(火)	オープン保育デー(3歳児)、 園外保育(5歳児) 里山体験
23日(水)	
25日(金)	歯科検診
26日(土)	自然体験企画「都田川魚とり体験」
30日(水)	ホンダサッカースクール(5歳児)
7月 9日(金)	サマーフェスタ(0-満3歳児)
10日(土)	サマーフェスタ(3-5歳児)
14日(水)	月礼拝
15日(木)	1学期終園日
8月 2日(月)	小学1年生同窓会、
27日(金)	夏期保育(1号認定児)
30日(月)	
31日(火)	
9月 1日(水)	2学期始園日・防災引渡訓練
3日(金)	プール納め
8日(水)	月礼拝
9日(木)	入園説明会(次年度入園希望3号認定児対象)
10月 1日(金)	プレイデー(運動会)3歳児 於:中高ソフトボール場
2日(土)	プレイデー(運動会)4・5歳児 於:中高ソフトボール場
12日(火)	自然体験企画「五平餅作り」(5歳児)
13日(水)	月礼拝
14日(木)	健康診断②

日付	内容
19日(火)	体力測定(5歳児)
23日(土)	プレイデー(運動会、0-満3歳児)於:園庭
26日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
27日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験、体力測定(4歳児)
11月 2日(火)	遠足(3歳児)
5日(金)	自然体験企画「かんぴょう巻き作り」(3歳児)
10日(水)	収穫感謝礼拝
11日(木)	収穫感謝訪問
13日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会
17日(水)	入園オリエンテーション、制服採寸(次年度3歳入園児)
18日(木)	お魚大好き食育講座(4・5歳児)
19日(金)	自然体験企画「すいとん作り」(4歳児)
12月 1日(水)	月礼拝
9日(木)	学園クリスマスツリー点火祭
11日(土)	クリスマス礼拝と讃美のつどい(3-5歳児)
15日(水)	鈴木孝幸選手来園・交流
18日(土)	クリスマスのつどい(0-2歳児)
21日(火)	2学期終園日
22日(水)	クリスマスのつどい(満3歳児・入園予定者)
1月 7日(金)	3学期始園日
8日(土)	園庭プロジェクト
11日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
12日(水)	
15日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)、 どうぶつしょうぎ[保護者会主催]
18日(火)	オープン保育デー(4歳児)
19日(水)	
25日(火)	はごろも「夢」講演会:翠富士閣との交流(オンライン)
26日(水)	月礼拝
27日(木)	オープン保育デー(3歳児)
28日(金)	
2月 2日(水)	月礼拝
3日(木)	節分
24日(木)	自然体験企画「手作りみそ仕込み」
25日(金)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
3月 2日(水)	月礼拝
3日(木)	ひなまつり
7日(月)	卒園Dayキャンプ(5歳児)
11日(金)	卒園お別れパーティー
16日(水)	卒園礼拝(5歳)
17日(木)	3学期終園日
19日(土)	卒園式(63名卒園)
30日(水)	園庭プロジェクト

(3) 施設等の状況 (2022年3月31日現在)

現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町 3453	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリスファー大学キャンパス
	70,902 m ²	2,165,391 千円	聖隷クリスファー中高キャンパス
	501 m ²	57,133 千円	聖隷クリスファー小学校
静岡県浜松市北区根洗町 1102-3、4、5	4,527 m ²	80,000 千円	聖隷クリスファー中高グラント用地
静岡県浜松市北区三方原町 2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリスファーこども園(園舎・園庭)
合計	122,033 m ²	2,807,925 千円	

校舎等

所在地	施設等(建物名称)	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリスファー大学(1号館)	9,068 m ²	2,338,542 千円	894,355 千円
	〃 (2号館)	4,026 m ²	721,978 千円	373,730 千円
	〃 (3号館)	4,727 m ²	902,099 千円	488,005 千円
	〃 (4号館)	1,199 m ²	194,260 千円	85,095 千円
	〃 (旧5号館旧棟)	2,623 m ²	305,909 千円	69,248 千円
	〃 (5号館)	5,134 m ²	948,666 千円	714,173 千円
	〃 (機械室)	11 m ²	1,124 千円	336 千円
	〃 (学生・同窓会館)	964 m ²	155,433 千円	43,854 千円
	〃 (キリスト教センター)	78 m ²	19,749 千円	7,348 千円
	〃 (第一体育館)	781 m ²	237,883 千円	109,461 千円
	〃 (第二体育館)	495 m ²	46,702 千円	15,614 千円
〃 (第一テニスクラブハウス)	35 m ²	10,754 千円	1,485 千円	
聖隷クリスファー大学 合計		29,141 m ²	5,883,098 千円	2,802,704 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	専門学校棟	574 m ²	160,760 千円	96,293 千円
聖隷クリスファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	160,760 千円	96,293 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリスファー中・高等学校(校舎)	9,332 m ²	1,622,974 千円	973,727 千円
	〃 (体育館)	4,369 m ²	769,645 千円	438,775 千円
	〃 (総合運動場クラブハウス)	176 m ²	34,011 千円	15,412 千円
	〃 (第二テニスクラブハウス)	106 m ²	17,379 千円	9,152 千円
	〃 (サッカー場クラブハウス)	193 m ²	36,003 千円	12,378 千円
	〃 (野球部部室)	62 m ²	20,855 千円	9,126 千円
	〃 (ガス整圧室、ポンプ室)	15 m ²	29,800 千円	8,695 千円
〃 (ソフトホール場倉庫)	65 m ²	1,908 千円	258 千円	
聖隷クリスファー中・高等学校 合計		14,318 m ²	2,532,575 千円	1,467,523 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリスファー小学校校舎	3,499 m ²	1,006,676 千円	939,849 千円
聖隷クリスファー小学校 合計		3,499 m ²	1,006,676 千円	939,849 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 2762	クリスファーこども園園舎	2,139 m ²	503,306 千円	342,754 千円
聖隷クリスファー大学附属クリスファーこども園 合計		2,139 m ²	503,306 千円	342,754 千円
総合計		49,671 m ²	10,086,415 千円	5,649,123 千円

3 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

資産は、固定資産が対前年度比 328 万円減の 101 億 1534 万円となり、流動資産は対前年度比 2 億 7,515 万円増の 49 億 5,907 万円となり、総資産額は対前年度比 2 億 7,187 万円増の 150 億 7,441 万円となりました。これらの主な要因は、流動資産が 2 億 7,515 万円増えたことによるものです。

負債は、負債の部合計が前年度比 1 億 4,792 万円減の 38 億 5,899 万円となりました。主な要因は借入金の返済進行によるものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の 74.4% は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短約 2 年での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

(単位:百万円)

資産の部合計	15,074	負債の部合計	3,859
		(主な内容)	
		(借入金)	1,498
		(前受金)	1,529
(主な内容)			
(現金預金)	4,743		
(土地)	2,808		
(建物)	5,649	自己資金	11,215

【有利子負債返済可能年数】

$$\frac{\text{借入金 } 1,498 \text{ 百万円}}{\text{学校運営にかかる } 710 \text{ 百万円 } \text{ キャッシュフロー}} = 2.1 \text{ 年}$$

◎経年比較

(単位:千円)

	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末
固定資産	9,214,009	9,062,505	10,205,261	10,118,619	10,115,343
流動資産	5,021,384	5,403,749	4,260,622	4,683,921	4,959,069
資産の部合計	14,235,394	14,466,254	14,465,883	14,802,540	15,074,412
固定負債	2,400,461	2,268,417	2,134,312	2,009,884	1,908,511
流動負債	1,879,035	1,989,263	1,930,195	1,997,020	1,950,474
負債の部合計	4,279,496	4,257,680	4,064,507	4,006,904	3,858,985
基本金	13,829,920	14,097,544	15,488,669	15,893,807	16,290,555
繰越収支差額	△ 3,874,022	△ 3,888,970	△ 5,087,293	△ 5,098,171	△ 5,075,128
純資産の部合計	9,955,898	10,208,574	10,401,376	10,795,636	11,215,427
負債及び純資産の部合計	14,235,394	14,466,254	14,465,883	14,802,540	15,074,412

イ) 財務比率の経年比較

区 分		評 価	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	全国平均 2020年度	
貸借対照表 関係比率	1 固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	64.7%	62.6%	70.5%	68.4%	67.1%	86.3%
	2 流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	35.3%	37.4%	29.5%	31.6%	32.9%	13.7%
	3 固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	16.9%	15.7%	14.8%	13.6%	12.7%	6.8%
	4 流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	13.2%	13.8%	13.3%	13.5%	12.9%	5.3%
	5 運用資産 余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	0.80年	0.88年	0.59年	0.73年	0.79年	1.96年
	6 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	267.2%	271.6%	220.7%	234.5%	254.2%	256.6%
	7 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	30.1%	29.4%	28.1%	27.1%	25.6%	12.1%
	9 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	86.6%	87.7%	89.2%	90.5%	91.3%	97.2%
	10 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	324.9%	338.2%	278.0%	290.8%	310.2%	358.5%
	11 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	70.1%	72.2%	54.9%	57.2%	58.3%	78.0%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2020(R2)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	2,626,446	2,622,592	2,612,964	2,713,748	2,855,963
手数料収入	58,454	58,904	60,231	60,149	58,929
寄付金収入	65,655	53,901	79,218	86,959	119,016
補助金収入	823,391	797,235	785,248	969,673	989,263
資産売却収入	300	249	20	0	11
付随事業・収益事業収入	12,137	15,441	17,490	22,792	25,390
受取利息・配当金収入	1,394	1,799	1,134	907	857
雑収入	94,593	137,017	93,144	97,803	90,058
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	1,516,781	1,554,589	1,486,143	1,543,572	1,528,913
その他の収入	69,048	84,557	130,945	155,046	189,647
資金収入調整勘定	△ 1,604,298	△ 1,632,786	△ 1,655,451	△ 1,664,295	△ 1,731,533
前年度繰越支払資金	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271
収入の部合計	8,289,605	8,621,883	8,868,202	8,118,388	8,615,785

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	2,266,937	2,345,026	2,335,462	2,364,671	2,473,006
教育研究経費支出	503,686	491,602	519,578	569,627	615,874
管理経費支出	234,374	257,188	295,989	273,828	300,617
借入金等利息支出	32,329	29,949	27,685	25,303	22,980
借入金等返済支出	154,860	151,660	151,660	151,660	153,520
施設関係支出	45,996	68,444	1,150,657	97,121	183,179
設備関係支出	57,002	73,571	152,881	113,657	115,983
資産運用支出	18,375	250	94,222	454	0
その他の支出	155,629	130,132	200,845	204,156	211,635
資金支出調整勘定	△ 107,967	△ 183,055	△ 192,811	△ 171,360	△ 204,292
次年度繰越支払資金	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271	4,743,283
支出の部合計	8,289,605	8,621,883	8,868,202	8,118,388	8,615,785

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2021年度は教育研究活動により発生した資金は7億1,735万円でした。施設・設備投資には2億9,916万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が約2億5,401万円増加しました。

(単位:千円)

科 目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,679,356	3,684,876	3,641,524	3,946,464	4,106,847
教育活動資金支出計	3,004,328	3,093,816	3,151,029	3,208,126	3,389,497
差引	675,028	591,060	490,495	738,338	717,350
調整勘定等	△ 46,207	55,688	△ 87,598	60,656	△ 7,426
教育活動資金収支差額	628,821	646,748	402,897	798,994	709,924
施設設備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	805	465	6,791	3,659	30,784
施設整備等活動資金支出計	102,999	142,015	1,303,537	210,777	299,162
差引	△ 102,194	△ 141,550	△ 1,296,746	△ 207,118	△ 268,378
調整勘定等	△ 17,423	△ 11,101	38,550	△ 34,624	18,729
施設整備等活動資金収支差額	△ 119,617	△ 152,651	△ 1,258,196	△ 241,742	△ 249,649
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	509,204	494,097	△ 855,299	557,252	460,275
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	13,733	23,971	16,076	56,072	13,377
その他の活動資金支出計	218,742	191,620	286,851	184,201	218,465
差引	△ 205,009	△ 167,649	△ 270,775	△ 128,129	△ 205,088
調整勘定等	△ 1,514	2,286	992	△ 71,886	△ 1,175
その他の活動資金収支差額	△ 206,523	△ 165,363	△ 269,783	△ 200,015	△ 206,263
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	302,681	328,734	△ 1,125,082	357,237	254,012
前年度繰越支払資金	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271
翌年度繰越支払資金	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271	4,743,283

ウ) 財務比率の経年比較

・教育活動資金収支差額比率

区 分	評 価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	全国平均 2020年度
教育活動資金 収支差額比率	△	17.1%	17.6%	11.1%	20.2%	17.3%	14.6%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2020(R2)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は4億1,979万円のプラスとなりました。この収支差額は前年度決算額よりも2,553万円改善しています。

《各部門別》

(単位:千円)

科目	法人	大学	高等学校	中学校	小学校	こども園	専門学校	合計	
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,173,674	434,830	59,004	136,071	14,024	38,360	2,855,963
	手数料(入学検定料含む)	0	37,335	19,141	765	1,170	0	518	58,929
	寄付金	1	42,546	54,369	7,759	12,716	0	155	117,546
	補助金	0	260,934	349,171	49,131	68,998	227,742	3,985	959,961
	付随事業・雑収入等	742	88,857	4,866	251	799	18,628	305	114,448
	教育活動外収入(受取利息等)	1,000	542	184	24	45	53	9	1,857
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	35,689	6,730	25	39	0	0	42,483
	合計	1,743	2,639,577	869,291	116,959	219,838	260,447	43,332	4,151,187
事業活動支出	人件費	62,339	1,461,663	465,568	100,203	194,277	170,479	28,628	2,483,157
	教育研究経費	0	563,143	161,098	23,493	68,165	59,056	14,046	889,001
	(うち減価償却額)	0	138,386	56,537	4,392	46,453	22,442	4,917	273,127
	管理経費	42,932	132,979	86,425	18,388	42,228	7,886	4,730	335,568
	(うち減価償却額)	11,403	4,887	133	22	32	411	47	16,935
	徴収不能額等	0	9	0	0	0	0	0	9
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	6,369	16,611	0	0	0	0	22,980
	特別支出(資産処分差額等)	0	564	99	18	0	0	0	681
合計	105,271	2,164,727	729,801	142,102	304,670	237,421	47,404	3,731,396	
経常収支差額	△ 103,528	439,725	132,859	△ 25,150	△ 84,871	23,026	△ 4,072	377,989	
事業活動収支差額	△ 103,528	474,850	139,490	△ 25,143	△ 84,832	23,026	△ 4,072	419,791	

◎経年比較

(単位:千円)

科目	年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,626,576	2,622,867	2,613,134	2,713,748	2,855,963
	手数料	58,454	58,904	60,231	60,149	58,929
	寄付金	65,440	54,582	79,001	85,488	117,546
	経常費等補助金	823,102	797,235	778,693	967,620	959,961
	付随事業収入	12,137	15,441	17,490	21,792	24,390
	雑収入	93,783	137,018	93,144	100,187	90,058
	教育活動収入計	3,679,492	3,686,047	3,641,693	3,948,984	4,106,847
	事業活動支出の部					
	人件費	2,284,761	2,347,868	2,338,082	2,372,133	2,483,157
	教育研究経費	796,336	759,069	750,261	840,864	889,001
	管理経費	263,574	287,131	324,037	309,059	335,568
	徴収不能額等	129	275	170	0	9
	教育活動支出計	3,344,800	3,394,343	3,412,550	3,522,056	3,707,735
教育活動収支差額	334,692	291,704	229,143	426,928	399,112	

(単位:千円)

科目		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動外収支	事業活動収入の部						
		受取利息・配当金	1,394	1,799	1,134	907	857
		その他の教育活動外収入	0	0	0	1,000	1,000
		教育活動外収入 計	1,394	1,799	1,134	1,907	1,857
	事業活動支出の部						
		借入金等利息	32,330	29,949	27,685	25,303	22,980
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	32,330	29,949	27,685	25,303	22,980
	教育活動外収支差額	△ 30,936	△ 28,150	△ 26,551	△ 23,396	△ 21,123	
経常収支差額		303,756	263,554	202,592	403,532	377,989	
特別収支	事業活動収入の部						
		資産売却差額	300	249	20	0	0
		その他の特別収入	9,377	12,660	13,753	13,462	42,483
		特別収入 計	9,677	12,909	13,773	13,462	42,483
	事業活動支出の部						
		資産処分差額	434	2,240	2,017	1,186	681
		その他の特別支出	22,217	21,547	21,547	21,547	0
		特別支出 計	22,651	23,787	23,564	22,733	681
	特別収支差額	△ 12,974	△ 10,878	△ 9,791	△ 9,271	41,802	
基本金組入前当年度収支差額		290,782	252,676	192,801	394,260	419,791	
基本金組入額合計		△ 264,755	△ 267,623	△ 1,391,124	△ 406,093	△ 404,109	
当年度収支差額		26,027	△ 14,947	△ 1,198,323	△ 11,833	15,682	
前年度繰越収支差額		△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970	△ 5,087,293	△ 5,098,171	
基本金取崩額		2,219	0	0	955	7,361	
翌年度繰越収支差額		△ 3,874,023	△ 3,888,970	△ 5,087,293	△ 5,098,171	△ 5,075,128	

(参考)

事業活動収入 計	3,690,563	3,700,755	3,656,600	3,964,353	4,151,187
事業活動支出 計	3,399,781	3,448,079	3,463,799	3,570,092	3,731,396

イ) 財務比率の経年比較

区分			評価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	全国平均 2020年度	
事業活動収支計算書関係比率	1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	62.1%	63.7%	64.2%	60.0%	60.4%	51.8%
	2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	87.0%	89.5%	89.5%	87.4%	86.9%	69.6%
	3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	21.6%	20.6%	20.6%	21.3%	21.6%	35.2%
	4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	7.2%	7.8%	8.9%	7.8%	8.2%	8.2%
	5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.9%	0.8%	0.8%	0.6%	0.6%	0.1%
	6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	7.9%	6.8%	5.3%	9.9%	10.1%	5.2%
	7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	▼	99.2%	100.4%	152.9%	100.3%	99.6%	105.8%
	8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	-	71.4%	71.1%	71.7%	68.7%	69.5%	74.4%

区 分			評 価	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	全国平均 2020年度
事業 活動 収支 計算 書 関 係 比 率	9	寄付金比率 寄 付 金 事業活動収入	△	2.0%	1.8%	2.4%	2.4%	3.1%	2.3%
	10	補助金比率 補 助 金 事業活動収入	△	22.3%	21.5%	21.5%	24.5%	23.8%	14.1%
	11	基本金組入率 基本金組入額 事業活動収入	△	7.2%	7.2%	38.0%	10.2%	9.7%	10.4%
	12	減価償却額比率 減 価 償 却 額 経 常 支 出	-	9.2%	8.3%	7.2%	8.1%	7.8%	11.7%
	13	経常収支差額 比率 経 常 収 支 差 額 経 常 収 入	△	8.3%	7.1%	5.6%	10.2%	9.2%	4.6%
	14	教育活動収支 差額比率 教 育 活 動 収 支 差 額 教 育 活 動 収 入 計	△	9.1%	7.9%	6.3%	10.8%	9.7%	3.0%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2020(R2)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

(2) その他

① 有価証券の状況

所有しておりません

② 借入金の状況

(単位:円)

借 入 先	期末残高	摘 要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	634,480,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	250,000,000	高校校舎用地購入、高校校舎建築
りそな銀行浜松支店	87,400,000	高校校舎建築
浜松磐田信用金庫三方原支店	286,030,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学5号館建築
静岡銀行浜松営業部	240,100,000	高校校舎建築、大学3号館建築
合 計	1,498,010,000	

③ 学校債の状況

発行しておりません

④ 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏名	金額	用途・品目等
一般寄付金	個人(3名)	35,065	
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	4,217,089	
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	5,688,200	
	聖隷クリストファー中・高等学校学年会計	1,113,222	
	合計	11,053,576	
特別寄付金	個人(43名)	23,452,000	奨学資金、部活動支援、外国人留学生支援
	株式会社星医療酸器様	200,000	教員の研究に対する資金
	聖隷クリストファー大学同窓会様	100,000	図書購入資金
	聖隷クリストファー大学後援会様	22,316,862	スクールバス補助、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	60,105,294	スクールバス補助
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	418,313	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	聖隷クリストファー高等学校2019年度卒業生様	1,370,000	卒業記念品購入資金
	合計	107,962,469	
現物寄付金	個人(38名)	11,709,624	科研費補助金購入備品 他
	合計	11,709,624	

寄付金合計 130,725,669

⑤ 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	184,752,000
大学等における修学の支援に関する法律による令和3事業年度授業料等減免費交付金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	75,553,800
ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	文部科学省	大学	9,449,000
令和3年度私立学校施設整備費補助金	文部科学省	大学	14,538,000
令和3年度私立大学等研究整備費等補助金(ICT教育設備整備推進事業費)	文部科学省	高校	5,316,000
令和3年度学校保健特別対策事業費補助金(学校等における感染症対策等支援事業)	文部科学省	高校	1,350,000
		中学	450,000
		小学校	450,000
令和3年度学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)	文部科学省	高校	1,102,000
		中学	414,000
		小学校	50,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	159,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	291,197,244
		中学	47,610,760
		小学校	66,105,628
静岡県私立高等学校授業料減免事業費補助金	静岡県	高校	53,210,700
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	790,000
私立学校サポートスタッフ配置等事業費補助金(スクールカウンセラー配置等事業)	静岡県	小学校	600,000
私立学校サポートスタッフ配置等事業費補助金(学習指導員配置等事業)	静岡県	小学校	961,000
私立学校行事キャンセル料支援事業費補助金	静岡県	小学校	156,000
私立専修学校運営費補助金	静岡県	専門学校	2,618,000
令和3年度私立専門学校就学支援事業費補助金	静岡県	専門学校	1,340,000
浜松市ウエルネス認証事業費補助金	浜松市	大学	276,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	352,733
		高校	366,080
		専門学校	26,693
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,155,000
		中学	496,800
		小学校	675,200
施設型給付費	浜松市	こども園	198,773,027
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	10,587,000
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	12,473,080
浜松市在園児下の子の優先利用支援事業費補助金	浜松市	こども園	2,406,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	2,260,150
私立保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業	浜松市	こども園	500,000
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	浜松市	こども園	742,420
合計			989,263,315

⑥ 収益事業の状況

本法人は、私立学校法に基づく収益事業を2019年度から開始いたしました。当該収益事業は、学校法人会計から区分し、一般に公正妥当と認められる企業会計の原則により経費処理することとされております。本法人では、2019年12月に、中・高等学校に隣接するマンションを購入し、貸家業として、家賃収入を得ています。

収益事業会計 貸借対照表

令和4年3月31日

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,777,477	流動負債	7,867,182
現金預金	5,701,385	未払金	142,382
前払費用	76,092	短期借入金	4,992,000
		預り金	1,678,000
		契約負債	1,054,800
固定資産	138,129,648	固定負債	33,776,000
有形固定資産		長期借入金	33,776,000
建物	88,265,730		
建物減価償却引当金	△ 6,384,553	負債の部合計	41,643,182
構築物	980,100		
構築減価償却引当金	△ 123,982		
土地	55,392,353		
		純資産の部	
		元入金	94,222,178
		利益剰余金	
		その他の利益剰余金	8,041,765
		(当期純利益	4,167,913)
		繰越剰余金	8,041,765
		純資産合計	102,263,943
資産の部合計	143,907,125	負債・純資産の部合計	143,907,125

収益事業会計 損益計算書

令和3年 4月 1日から

令和4年 3月31日まで (単位:円)

科目	金額
1. 営業損益	
(1) 営業収益	
家賃収入	12,767,600
計	12,767,600
(2) 営業費用	
報酬委託手数料	1,047,673
水道光熱費	846,959
修繕費	607,530
建物保全費	443,100
保険料	112,405
公租公課	913,890
地代家賃	319,800
減価償却費	2,800,923
寄付金	1,000,000
雑費	145,145
計	8,237,425
営業利益	4,530,175
2. 営業外損益	
(1) 営業外収入	
受取利息	47
雑収入	3,000
計	3,047
(2) 営業外費用	
支払利息	290,309
解約手数料	75,000
計	365,309
経常利益	4,167,913
学校会計繰入前利益	4,167,913
学校会計繰入支出	0
税引き前当期純利益	4,167,913
法人税、住民税及び事業税	0
当期純利益	4,167,913
前期繰越利益	3,873,852
繰越利益剰余金	8,041,765

注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

…定額法を採用している。

(2) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

…消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 減価償却額の累計額の合計額 6,508,535円

⑦ 関連当事者等との取引の状況

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高	
						役員の兼任等	事業上の関係					
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務被保証 (注1)	572,380,000	—	—	
理事	青木 善治	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉 事業団 理事長	—	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,960,000	教育研究経費	—
								健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	4,065,644	教育研究経費	—
								健康診断委託	教職員検診委託料(注2)	3,037,210	管理経費	—
								実習受入	実習受入謝礼(注2)	3,770,105	教育研究経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は令和4年3月末残高である。

なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 青木善治が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。

取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

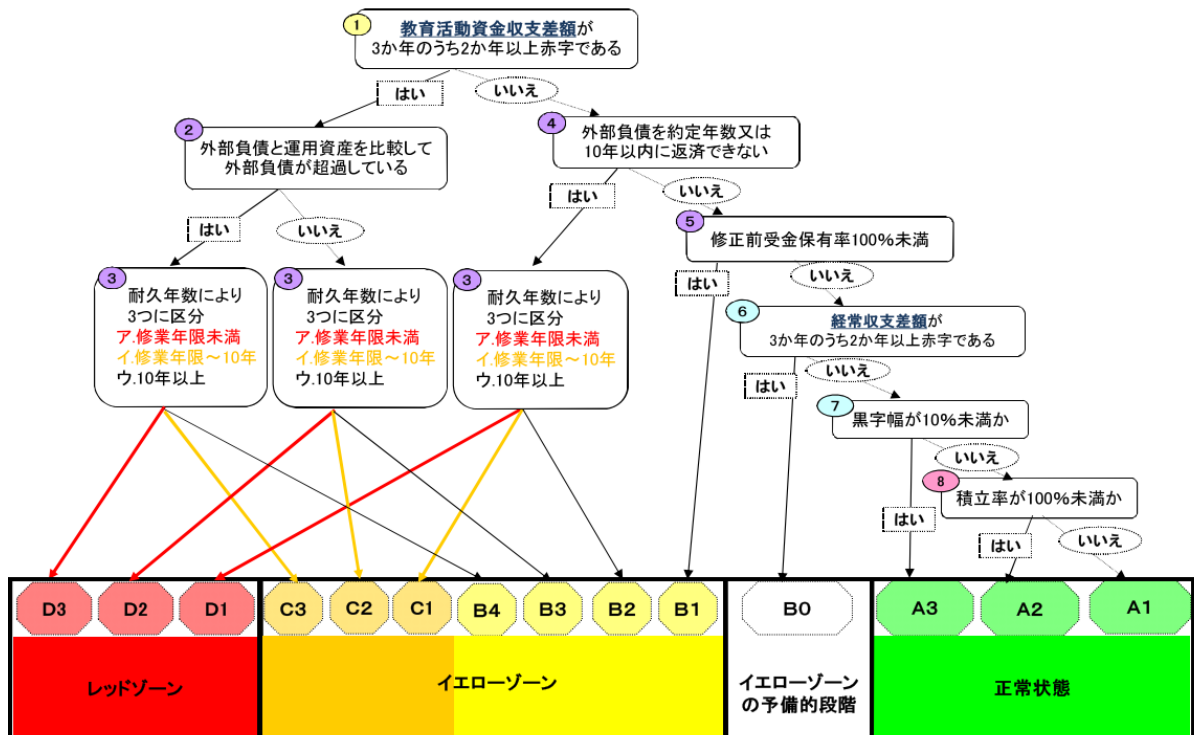
⑧ 学校法人間財務取引

該当なし

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分から

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により 14 通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率 9.2%で、A3 ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



②2021 年度決算概要について

学生・生徒・児童・園児数は、高等学校入学者増、小学校学年進行に伴い、学園全体で 3,077 名となり、前年度から 204 名増加しています。定員充足率は学園全体で 96.4%（対前年度比 2.7 ポイント増）となりました。

事業活動収入は、4,151,186 千円（対前年度 186,833 千円増）、事業活動支出は 3,731,395 千円（対前年度 161,303 千円増）となり、収支差額は 419,791 千円（対前年度 25,530 千円増）となりました。収入については、学生数増に伴い納付金が 142,215 千円増となりましたが、大学・高校の経常費補助金は減少（授業料減免補助金は増）しております。一方、支出で大きな割合を占める人件費は、小中高で生徒数増に伴う教員増の為、111,022 千円の増加となりました。納付金増の影響もあり、人件費比率は法人全体で 60.4%（同 0.3 ポイント増）に留まりました。

この他、2021 年度は大学では、4 号館耐震補強壁工事 51,700 千円を行い、国からの補助金 14,538 千円交付を受けました。これにより、耐震化率は 100%となりました。その他の補助金獲得も積極的に行ない、コロナ禍においても教育保育活動を行える環境へ整備しました。

施設・設備の整備については、中高ソフトボール場移転用地購入 72,000 千円、高校入学者増対応として教室改修、机・椅子購入等 44,543 千円、大学・中高 ICT 関連教育環境充実 25,610 千円、その他、エアコン取替、LED 照明取替等 34,081 千円など教育環境の充実を行いました。

こうした状況のもとで、2021 年度の事業活動収支差額比率は、法人全体で 10.1%（対前年度比 0.2 ポイント増）となりました。

法人全体における教育活動のキャッシュフローは 709,924 千円（2020 年度 798,994 千円）のプラスになります。施設整備等活動のキャッシュフローは△249,648 千円で、これは前述の施設・設備の整備によるものです。その他活動のキャッシュフローは△206,263 千円となります。次年度繰越支払資金は 254,012 千円増となり、繰越支払資金は 4,743,283 千円となりました。

今後、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その 60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

③各学校別財務比率から

<学校法人全体の主要財務指標の内容>

ここでは主に下記の指標を用いて2021年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。

① 収容定員充足率 = 学生現員 ÷ 収容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

③ 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合いを表したもので、150~200%が理想的です。

④ 運用資産余裕比率 = (運用資産*1 - 外部負債*2) ÷ 経常支出 …法人全体のみ

*1 運用資産 = 現預金 + 特定預金 *2 外部負債 = 総負債 - 退職給与引当金 - 前受金

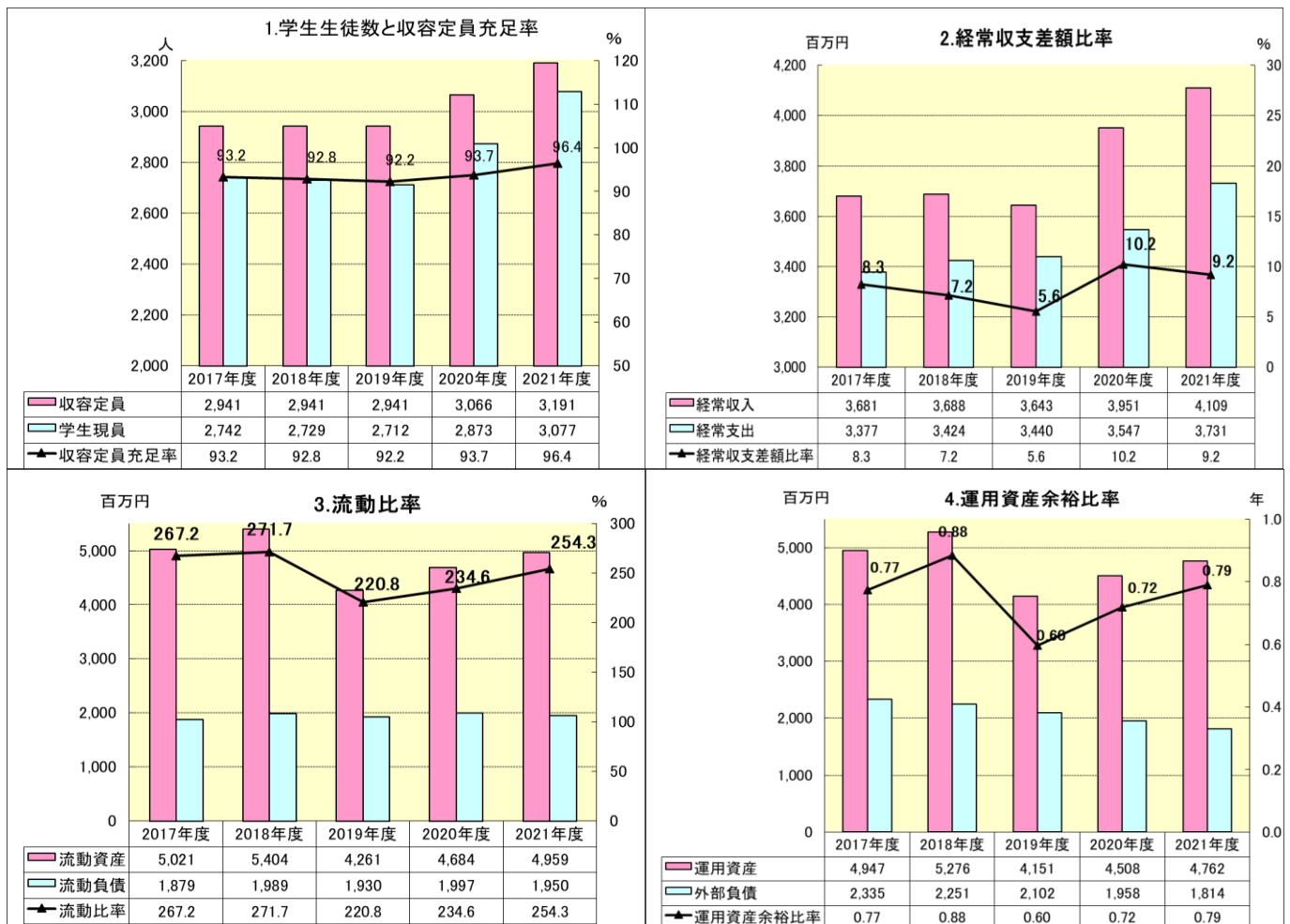
実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2021年度は小学校開設2年目を迎え、法人全体の収容定員充足率96.4%となりました。経常収支差額比率9.2%、流動比率は254.3%、運用資産余裕比率は0.79年となっております。

2021年度は、2019年度に小学校開設準備費用として自己資金約11億8千万円執行した事により、財務比率は一旦、低下しましたが、2020年度以降は改善傾向であり、小学校の完成年度に向けて、徐々に改善していくことと思われまます。

2021年度決算(法人全体)



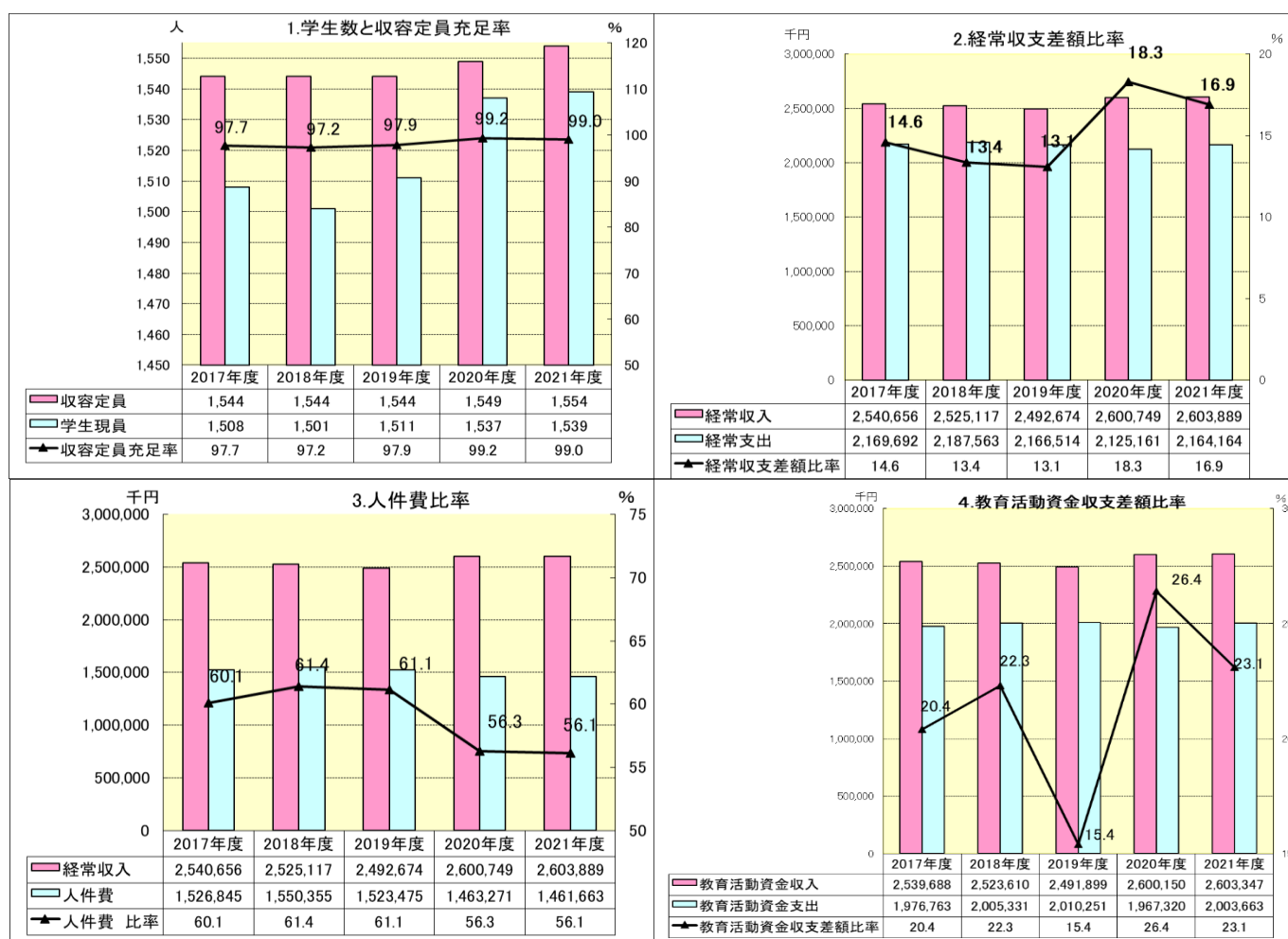
◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

- ① 収容定員充足率 = 学生(生徒・園児)現員 ÷ 収容定員
- ② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入
- ③ 人件費比率 = 人件費 ÷ 経常収入
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。
- ④ 教育活動資金収支差額比率 = 教育活動資金収支差額 ÷ 教育活動資金収入計
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです

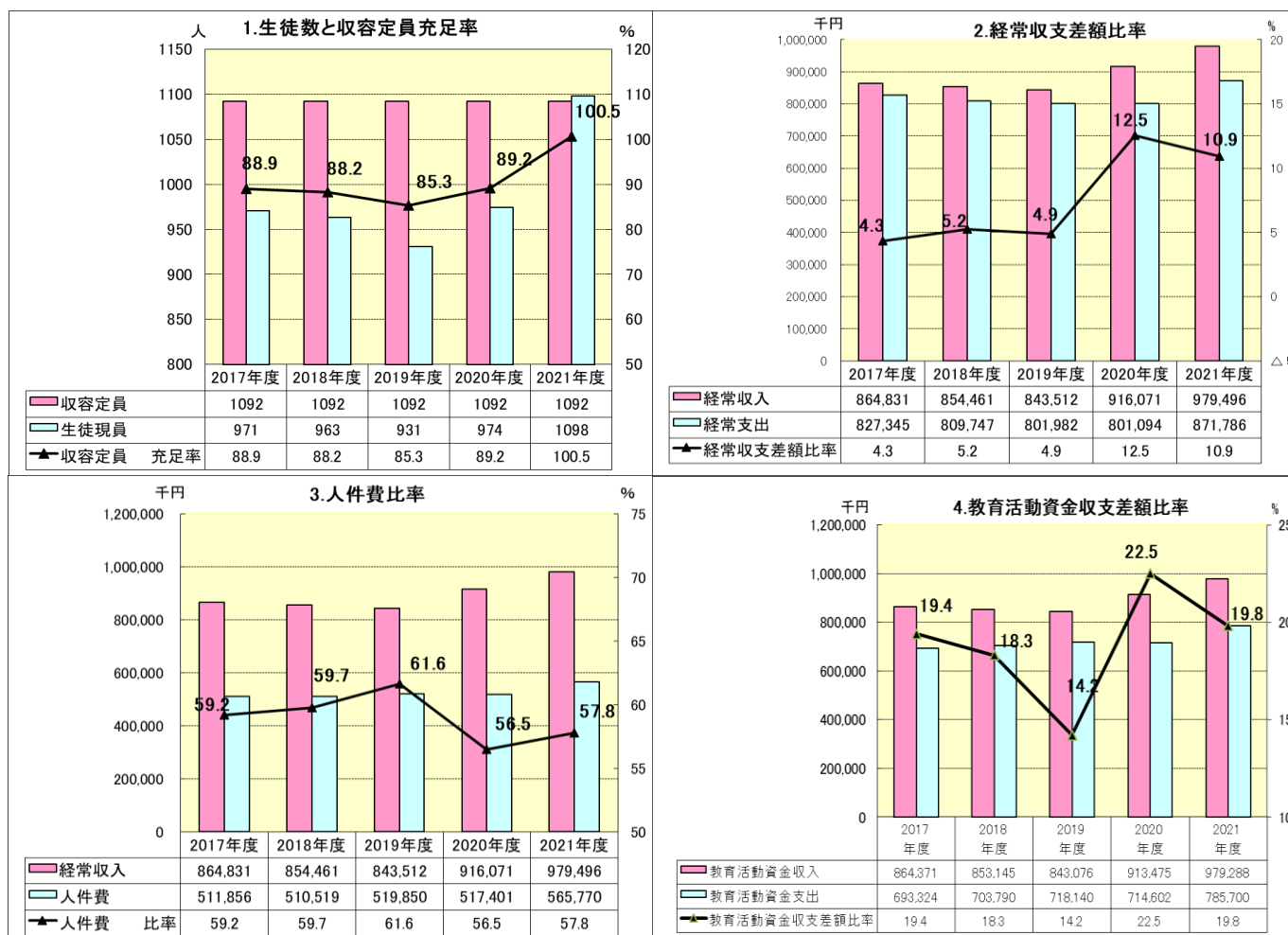
聖隷クリストファー大学

2021年度決算(大学全体)



聖隷クリストファー中・高等学校

2021年度決算（中・高等学校）



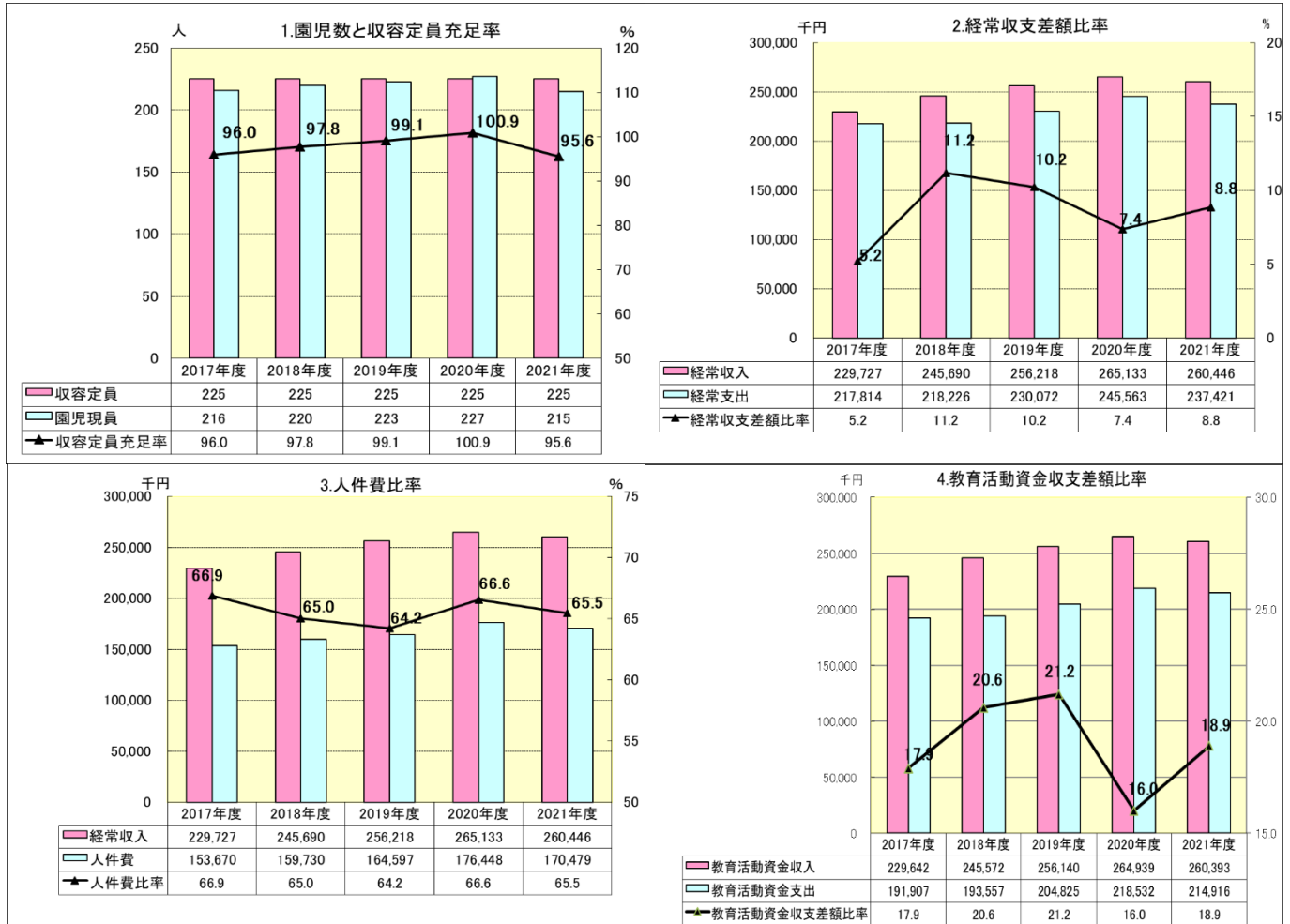
聖隷クリストファー小学校

聖隷クリストファー小学校は、2020年度4月開校のため財務比率のみ掲載します。

年度	収容定員	学生現員数	定員充足率	人件費比率	経常収支差額比率	教育活動資金収支差額比率
2020	120	92	76.7%	102.5%	△80.9%	△18.6%
2021	240	179	74.6%	88.4%	△38.6%	△19.8%

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2021年度決算（こども園）



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2021年度決算（専門学校）

